

令和4年度

教育に関する事務の管理及び  
執行の状況の点検及び評価  
報告書

台東区教育委員会

# 目 次

---

1 目的及び根拠	3
2 点検及び評価の対象	4
3 点検及び評価の方法	8
4 学識経験を有する者の知見の活用	10
5 点検及び評価の結果	10
施策目標Ⅰ 新しい時代に対応する資質・能力を育成する	15
1 かけがえのない命を大切にす豊かな心の育成	15
(1)人権教育の推進	15
(2)生命尊重の教育の推進	17
(3)規範意識や思いやりの心の育成、道徳教育の充実	19
(4)困難を乗り越え、物事を成し遂げる力を育むための教育活動の推進	22
(5)文化・芸術に触れる体験の充実	24
2 子供の資質・能力の育成と学習習慣の確立	29
(1)基礎・基本を身に付ける教育の推進	29
(2)自ら学び考える教育の推進	32
(3)学びに向かう力、人間性の涵養	34
(4)主体的・対話的で深い学びの推進	36
3 豊かな体験活動を通じた健やかな体の育成	39
(1)運動習慣の確立と体力向上の推進	39
(2)自然体験活動の充実	45
(3)給食の充実と食育の推進	49
(4)健康・安全・防災教育の推進	51
4 新たな価値を創造する社会を生きるために必要となる力の育成	53
(1)情報活用能力の育成	53
(2)新しい時代に対応できる資質・能力の育成	55
(3)新たな価値を創造するための教育の推進	57
施策目標Ⅱ グローバルな社会で活躍する人材を育成する	62
5 ころごしを立て将来の夢や理想を実現する人の育成	62
(1)ころごし教育の推進	62
(2)グローバルに活躍する人材の育成	64
6 社会的・職業的自立に向けた能力・態度の育成	67
(1)自己の生き方や働き方を考える教育の推進	67

(2) 勤労観・職業観の育成とキャリア形成 .....	70
7 江戸で培った歴史や伝統を受け継ぐ豊かな感性の醸成 .....	71
(1) 文化・芸術を豊かに感じる心の醸成 .....	71
(2) 郷土の歴史・伝統に対する理解の促進 .....	74
(3) 地元の文化・芸術に触れ愛着と誇りを育む教育の推進 .....	76
8 社会の発展に貢献する意欲と責任感の育成 .....	78
(1) 社会に参画しようとする意欲や態度の育成 .....	78
(2) まちや社会の期待に応える人材の養成 .....	81
(3) 人と人との絆づくりの推進 .....	82
6 学識経験者による意見 .....	85
7 参考資料 .....	91
・教育振興のための施策に関する基本的な計画一覧	
・台東区教育大綱	
・教育目標	

## 1 目的及び根拠

平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、平成20年4月からすべての教育委員会は、毎年、事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表することとされました。また、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされています。

台東区教育委員会では、教育行政をより効果的、効率的に推進するため、平成20年度から主要な施策や事務事業の取り組み状況について点検及び評価を毎年実施しており、令和4年度の点検及び評価の実施結果を報告書にまとめました。

### 【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 2 点検及び評価の対象

台東区教育委員会では、平成30年度から4年間をかけて、「学びのキャンパス台東アクションプラン」、「生涯学習推進プラン」及び「スポーツ振興基本計画」の3つの計画の内、教育委員会以外の事業を除いた全ての施策及び事業について点検及び評価を行いました。令和3年度で全ての計画の点検及び評価を終了したところですが、新型コロナウイルス感染症による影響等で前回点検した時と大きく社会情勢が異なるため、今年度以降については、改めて3つの計画の施策及び事業について再度点検及び評価を行います。

今年度については、「学びのキャンパス台東アクションプラン」を対象に施策目標及び施策方向について点検及び評価を行いました。施策方向については、施策を構成する取組の成果や課題等を踏まえて総合的に点検及び評価を行っています。

点検及び評価を行った124事業は下記の表のとおりです(下記の表は、学びのキャンパス台東アクションプランの施策体系図から教育委員会以外の事業を除いたもの。なお、「NO.」はそれぞれ、学びのキャンパス台東アクションプランの施策目標－施策方向－施策－取組番号を表す。再掲事業については、最初の掲載番号を【】内に記載している。)

通し 番号	NO. (施策目標-施策 方向-施策-取組 番号)	事業名等	掲載 ページ
1	I-1-(1)-①	人権尊重教育推進校	15
2	I-1-(1)-②	人権教育研修会	15
3	I-1-(1)-③	男女共同参画の推進	16
4	I-1-(1)-⑦	福祉体験・奉仕活動体験の推進	16
5	I-1-(2)-①	いじめ相談カードの配布	17
6	I-1-(2)-②	スマートフォンルール	17
7	I-1-(2)-③	生活指導・健全育成指導の充実	18
8	I-1-(2)-④	スクールカウンセラーの派遣	18
9	I-1-(3)-①	心の教育の推進	19
10	I-1-(3)-②	ノーテレビデーの呼びかけ	19
11	I-1-(3)-③	道徳授業地区公開講座の実施	20
12	I-1-(3)-④	花の心プロジェクト	20
13	I-1-(3)-⑤	中学校における武道の授業	21
14	I-1-(4)-①	農業体験学習	22
15	I-1-(4)-②	体験を広げるスクールバスの活用	22
16	I-1-(4)-③	ボランティア活動の推進	23
17	I-1-(5)-①	小中学校音楽鑑賞教室	24
18	I-1-(5)-②	小中学校連合音楽会	24
19	I-1-(5)-③	小学校のオーケストラや金管バンドなどの活動の支援	25
20	I-1-(5)-④	器楽教育の充実	25
21	I-1-(5)-⑤	楽器有効活用	26

通し 番号	NO. (施策目標-施策 方向-施策-取組 番号)	事業名等	掲載 ページ
22	I-1-(5)-⑥	学びのキャンパスプランニング	26
23	I-1-(5)-⑦	小学校演劇鑑賞教室(能・狂言の鑑賞)	27
24	I-1-(5)-⑧	東京藝術大学の学生等による音楽、部活動等への指導	27
25	I-1-(5)-⑨	上野学園大学の学生等による音楽、課外活動等への指導	28
26	I-2-(1)-①	学力向上推進ティーチャー	29
27	I-2-(1)-②	教育活動アシスタント	29
28	I-2-(1)-③	学習支援講座「ステップ・アップ」	30
29	I-2-(1)-④	授業改善推進プランの活用	30
30	I-2-(1)-⑤	学校図書館司書活用による読書活動の充実	31
31	I-2-(1)-⑥	読書習慣定着のための取組の充実	31
32	I-2-(2)-①	言語活動を取り入れた授業の充実	32
33	I-2-(2)-②	学校図書館を活用した授業の推進	32
34	I-2-(2)-③	情報モラル教育の推進	33
35	I-2-(3)-①	学習習慣定着に向けての啓発	34
36	I-2-(3)-②	「連携の日」を通じた生活活動・学習習慣の定着	34
37	I-2-(3)-③	長期休業期間中や放課後の補充学習の実施	35
38	I-2-(3)-④	幼稚園・こども園の夏季保育の実施	35
39	I-2-(4)	学力向上推進ティーチャー【再掲】	36
40	I-2-(4)	教育活動アシスタント【再掲】	36
41	I-2-(4)-③	ICT教育環境を活かした教育の推進	37
42	I-2-(4)-④	学校ICTコンサルティングサービス	37
43	I-2-(4)-⑤	理科教育アドバイザー派遣	38
44	I-3-(1)-①	体力・運動能力、生活・運動習慣等調査の実施	39
45	I-3-(1)-②	連合運動会・連合陸上競技大会	39
46	I-3-(1)-③	運動に親しむ態度の育成	40
47	I-3-(1)-④	スポーツ推進委員	40
48	I-3-(1)-⑤	ラジオ体操会	41
49	I-3-(1)-⑥	プール指導の充実	41
50	I-3-(1)	中学校における武道の授業【再掲】	42
51	I-3-(1)-⑧	幼児の体力向上支援	42
52	I-3-(1)-⑨	幼児運動教室	43
53	I-3-(1)-⑩	ジュニア駅伝大会	43
54	I-3-(1)-⑪	チャレンジスポーツ教室	44
55	I-3-(2)-①	小学校岩井臨海学園	45
56	I-3-(2)-②	小学校移動教室	45
57	I-3-(2)-③	小学校日光林間学園	46
58	I-3-(2)-④	中学校オリエンテーション	46
59	I-3-(2)-⑤	中学校移動教室	47
60	I-3-(2)-⑥	中学校林間学園	47
61	I-3-(2)-⑦	幼児期の自然体験の充実	48
62	I-3-(3)-①	学校園の給食の充実	49
63	I-3-(3)-②	栄養教諭・栄養士との連携による食育の推進	49
64	I-3-(3)-③	幼児期における食育の充実	50
65	I-3-(4)-①	学校園の安全教育の推進	51
66	I-3-(4)-②	災害発生時に主体的に適切な行動ができる能力を培う学習の推進	51
67	I-3-(4)-③	セーフティ教室の実施	52

通し 番号	NO. (施策目標-施策 方向-施策-取組 番号)	事業名等	掲載 ページ
68	I-4-(1)-①	理科教育の推進	53
69	I-4-(1)	理科教育アドバイザー派遣【再掲】	53
70	I-4-(1)	ICT教育環境を活かした教育の推進【再掲】	54
71	I-4-(1)	情報モラル教育の推進【再掲】	54
72	I-4-(2)-①	台東区総合学力調査	55
73	I-4-(2)-②	エビデンスに基づく教育研究	55
74	I-4-(2)-③	教育機器の研究充実	56
75	I-4-(3)-①	English Summer School	57
76	I-4-(3)-②	TGGでミニ留学	57
77	I-4-(3)-③	中学生海外短期留学派遣	58
78	I-4-(3)-④	中学生の職業体験	58
79	I-4-(3)-⑤	企業と連携した中学生への職業講話	59
80	I-4-(3)-⑥	オリンピック・パラリンピック教育の推進	59
81	I-4-(3)	小学校のオーケストラや金管バンドなどの活動の支援【再掲】	60
82	I-4-(3)	東京藝術大学の学生等による音楽、部活動等への指導【再掲】	60
83	I-4-(3)	上野学園大学の学生等による音楽、課外活動等への指導【再掲】	61
84	II-5-(1)-①	こころざし教育の推進	62
85	II-5-(1)-②	こころざし教育副読本の活用	62
86	II-5-(1)-③	地域を学ぶ学習の充実	63
87	II-5-(1)	中学生の職業体験【再掲】	63
88	II-5-(2)	English Summer School【再掲】	64
89	II-5-(2)	TGGでミニ留学【再掲】	64
90	II-5-(2)	中学生海外短期留学派遣【再掲】	65
91	II-5-(2)-④	中学校英語発表会	65
92	II-5-(2)-⑤	小学校英語活動の充実	66
93	II-5-(2)-⑥	中学校への外国人英語指導助手の派遣	66
94	II-6-(1)-①	「連携の日」を通じた主体的な中学校選択	67
95	II-6-(1)-②	進路指導・キャリア教育の充実	67
96	II-6-(1)-③	乳幼児と触れ合う機会の充実	68
97	II-6-(1)	ボランティア活動の推進【再掲】	68
98	II-6-(1)	こころざし教育の推進【再掲】	69
99	II-6-(2)	中学生の職業体験【再掲】	70
100	II-6-(2)	企業と連携した中学生への職業講話【再掲】	70
101	II-7-(1)	小学校演劇鑑賞教室(能・狂言の鑑賞)【再掲】	71
102	II-7-(1)-②	小中学校連合作品展	71
103	II-7-(1)	学びのキャンパスプランニング【再掲】	72
104	II-7-(1)	東京藝術大学の学生等による音楽、部活動等への指導【再掲】	72
105	II-7-(1)	上野学園大学の学生等による音楽、課外活動等への指導【再掲】	73
106	II-7-(2)-①	郷土資料の収集・保存・活用	74
107	II-7-(2)-②	社会科副読本の配布	74
108	II-7-(2)-③	伝統・文化、歴史、美意識、礼節などの継承と発展	75
109	II-7-(2)-④	台東区子供歴史・文化検定	75
110	II-7-(3)-①	多様な主体の参画による学習の展開	76
111	II-7-(3)-②	AVライブラリーの充実	76

通し 番号	NO. (施策目標-施策 方向-施策-取組 番号)	事業名等	掲載 ページ
112	Ⅱ-7-(3)-③	台東区の民話と伝承遊びの普及	77
113	Ⅱ-8-(1)-①	租税教育の推進	78
114	Ⅱ-8-(1)	情報モラル教育の推進【再掲】	78
115	Ⅱ-8-(1)-③	主権者教育の推進	79
116	Ⅱ-8-(1)	福祉体験・奉仕活動体験の推進【再掲】	79
117	Ⅱ-8-(1)-⑦	清掃施設体験学習	80
118	Ⅱ-8-(1)-⑧	区立小中学校における清掃・美化・リサイクル活動	80
119	Ⅱ-8-(2)	ボランティア活動の推進【再掲】	81
120	Ⅱ-8-(3)-①	地域との連携による学校、地域の安全の充実	82
121	Ⅱ-8-(3)-②	いきいき台東っ子応援団	82
122	Ⅱ-8-(3)	中学生の職業体験【再掲】	83
123	Ⅱ-8-(3)-④	世代間交流・地域交流	83
124	Ⅱ-8-(3)-⑥	学校安全ボランティア	84



### 3 点検及び評価の方法

台東区教育委員会では、子供たち一人ひとりの個性・能力を伸ばす取組となるよう、点検と評価を計画的に実施し、家庭や地域社会をはじめ、関係するすべての皆様の御理解と御協力を得ながら、各事業の教育的効果の向上に努めています。

本報告書では、施策及び取組を客観的な基準で採点し、評価するために、教育施策総括シート及び教育事業評価シートを活用しました。

#### (1)教育施策総括シート

教育施策総括シートには、各計画ごとに掲げた施策目標に対して、昨年度の取組結果をまとめました。また、それぞれの施策の評価を一覧としてまとめました。

#### 【施策等一覧の見方】

評価に際し、新型コロナウイルス感染症による事業の縮小や中止などを明記した取組の内数。

数値は事業数を表しており、「施策目標」及び「施策方向」の段階でそれぞれの評価の事業が何個あるかを表しています。

施 策 方 向		達成	半数以上 達成	未達成	※	計
施策No.	事 業 名					
【施策目標】 I	新しい時代に対応する資質・能力を育成する	56	0	27	24	83
1	かけがえのない命を大切にす豊かな心の育成	18	0	7	5	25
I-1-(1)	人権教育の推進	0	0	1	1	4
I-1-(2)	生命尊重の教育の推進	0	0	0	0	4

NO.は、「施策目標－施策方向－取組」を表しています。

横の計は、各取組に位置付けられている事業数とイコールになります。

(2)教育事業評価シート

教育事業評価シートの見方は下記のとおりです。

NO.	①	
施 策		②
取 組 名		③
取 組 の 概 要		④
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	⑤
	取 組 実 績	⑥
	取 組 の 成 果	⑦
	取 組 の 課 題	⑧
担 当 課 評 価	⑨	⑩

⑪【●●課】

【教育事業評価シートの見方】

- ①②③…各計画ごとの位置づけ
- ④…各計画に記載されている取組の概要
- ⑤…事業の令和3年度の目標及び取組内容
- ⑥…事業の令和3年度の実績
- ⑦…事業の令和3年度の成果
- ⑧…⑥と⑦を受けた取組の課題
- ⑨…評価基準に基づいて担当課ごとに行った評価
- ⑩…⑨のように評価した理由
- ⑪…事業の所管課名

《評価基準》

- 「達成」・・・目標値と比較して同数以上又は目標項目をすべて実施
- 「半数以上達成」・・・目標項目が複数ある場合で半数以上が達成
- 「未達成」・・・目標値と比較して同数未満又は複数の目標項目のうち半数未満が達成

#### 4 学識経験を有する者の知見の活用

点検及び評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する方のご意見をお聞きする機会を設け、様々なご意見、ご助言をいただきました。

##### ■ 学識経験者

氏名	所属等
尾木 和英	東京女子体育大学名誉教授
前田 烈	大智学園高等学校顧問
有村 久春	東京聖栄大学教授

#### 5 点検及び評価の結果

今回行った点検及び評価の結果については、次ページ以降のとおりです。

## 教育施策総括シート

### 【施策目標】 I 新しい時代に対応する資質・能力を育成する

これからの社会において、人口減少・高齢化の進展、地域社会・家族の変容、急速な技術革新、多様化・国際化などの状況は全国的に進行していくものと考えられます。

子供たち一人ひとりが生涯を通じて夢とこころぎしをもち、予測困難な時代を生き抜くために、人権尊重の精神を基盤とし、健やかな心と体の育成を図るとともに、基礎的・基本的な学力の定着と自ら学び考える力の育成を図ります。保護者や区民の理解を得ながら、新しい時代に対応する資質・能力の育成を推進していきます。

### 施策目標に対する昨年度の取組結果

#### ○施策の方向1 「かけがえのない命を大切にす豊かな心の育成」

「生命尊重の教育の推進」、「規範意識や思いやりの心の育成、道徳教育の充実」は、全ての事業で計画目標を達成した。

「人権教育の推進」、「困難を乗り越え、物事を成し遂げる力を育むための教育活動の推進」、「文化・芸術に触れる体験の充実」は、目標値に到達しなかった。特に、人権教育研修会、小中学校連合音楽会、小学校のオーケストラや金管バンドなどの活動の支援、学びのキャンパスプランニング、東京藝術大学の学生等による音楽、部活動等への指導の事業は、新型コロナウイルス感染症による影響が大きかった。

#### ○施策の方向2 「子供の資質・能力の育成と学習習慣の確立」

「自ら学び考える教育の推進」、「学びに向かう力、人間性の涵養」、「主体的・対話的で深い学びの推進」は、全ての事業で計画目標を達成した。

「基礎・基本を身に付ける教育の推進」は、学習支援講座「ステップ・アップ」の事業が目標値に到達しなかった。

#### ○施策の方向3 「豊かな体験活動を通した健やかな体の育成」

「給食の充実と食育の推進」、「健康・安全・防災教育の推進」は、全ての事業で計画目標を達成した。

「運動習慣の確立と体力向上の推進」、「自然体験活動の充実」は、目標値に到達しなかった。特に、連合運動会・連合陸上競技大会、運動に親しむ態度の育成、スポーツ推進委員、ラジオ体操会、プール指導の充実、ジュニア駅伝大会、チャレンジスポーツ教室、小学校岩井臨海学園、小学校移動教室、小学校日光林間学園、中学校オリエンテーション、中学校移動教室、中学校林間学園の事業は、新型コロナウイルス感染症による影響が大きかった。

#### ○施策の方向4 「新たな価値を創造する社会を生きるために必要となる力の育成」

「情報活用能力の育成」は、全ての事業で計画目標を達成した。

「新しい時代に対応できる資質・能力の育成」と「新たな価値を創造するための教育の推進」は、目標値に到達しなかった。特に、台東区総合学力調査、TGGでミニ留学、中学生海外短期留学派遣、オリンピック・パラリンピック教育の推進、小学校のオーケストラや金管バンドなどの活動の支援、東京藝術大学の学生等による音楽、部活動等への指導の事業は、新型コロナウイルス感染症による影響が大きかった。

## 【施策目標】Ⅱ グローバルな社会で活躍する人材を育成する

多様化・国際化する変化の激しい社会で生き抜くためには、グローバルな視点をもって豊かな地域社会の創造・発展に積極的に貢献しようとする姿勢が求められます。その姿とは、江戸と今をつなぐまち台東区の歴史や文化伝統に誇りをもち、地域を愛し、人を愛し、行動することであると考えます。

そのために、新たな社会的・経済的価値を生み出すことなど、まちのニーズに応える人材や多文化共生の地域社会で活躍する人材、広い視野をもち国際社会を牽引していく人材など、グローバルな社会で活躍する人材を育成するための取組を推進していきます。

### 施策目標に対する昨年度の取組結果

#### ○施策の方向5 「こころざしを立て将来の夢や理想を実現する人の育成」

「こころざし教育の推進」は、全ての事業で計画目標を達成した。

「グローバルに活躍する人材の育成」は、目標値に到達しなかった。特に、TGGでミニ留学、中学生海外短期留学派遣、中学校英語発表会の事業は、新型コロナウイルス感染症による影響が大きかった。

#### ○施策の方向6 「社会的・職業的自立に向けた能力・態度の育成」

「勤労観・職業観の育成とキャリア形成」は、全ての事業で計画目標を達成した。

「自己の生き方や働き方を考える教育の推進」は、目標値に到達しなかった。特に、「連携の日」を通じた主体的な中学校選択、乳幼児と触れ合う機会の充実の事業は、新型コロナウイルス感染症による影響が大きかった。

#### ○施策の方向7 「江戸で培った歴史や伝統を受け継ぐ豊かな感性の醸成」

「郷土の歴史・伝統に対する理解の促進」、「地元の文化・芸術に触れ愛着と誇りを育む教育の推進」は、全ての事業で計画目標を達成した。

「文化・芸術を豊かに感じる心の醸成」は、目標値に到達しなかった。特に、学びのキャンパスプランニング、東京藝術大学の学生等による音楽、部活動等への指導の事業は、新型コロナウイルス感染症による影響が大きかった。

#### ○施策の方向8 「社会の発展に貢献する意欲と責任感の育成」

「まちや社会の期待に応える人材の養成」は、全ての事業で計画目標を達成した。

「社会に参画しようとする意欲や態度の育成」、「人と人との絆づくりの推進」は、目標値に到達しなかった。特に、清掃施設体験学習、いきいき台東っ子応援団の事業は、新型コロナウイルス感染症による影響が大きかった。

取組等一覧

施 策 方 向		達成	半数以上 達成	未達成	※	計
施策No.	事業名					
【施策目標】Ⅰ 新しい時代に対応する資質・能力を育成する		56	0	27	24	83
1 かけがえのない命を大切にす豊かな心の育成		18	0	7	5	25
I-1-(1)	人権教育の推進	3	0	1	1	4
I-1-(2)	生命尊重の教育の推進	4	0	0	0	4
I-1-(3)	規範意識や思いやりの心の育成、道徳教育の充実	5	0	0	0	5
I-1-(4)	困難を乗り越え、物事を成し遂げる力を育むための教育活動の推進	2	0	1	0	3
I-1-(5)	文化・芸術に触れる体験の充実	4	0	5	4	9
2 子供の資質・能力の育成と学習習慣の確立		17	0	1	0	18
I-2-(1)	基礎・基本を身に付ける教育の推進	5	0	1	0	6
I-2-(2)	自ら学び考える教育の推進	3	0	0	0	3
I-2-(3)	学びに向かう力、人間性の涵養	4	0	0	0	4
I-2-(4)	主体的・対話的で深い学びの推進	5	0	0	0	5
3 豊かな体験活動を通じた健やかな体の育成		11	0	13	13	24
I-3-(1)	運動習慣の確立と体力向上の推進	4	0	7	7	11
I-3-(2)	自然体験活動の充実	1	0	6	6	7
I-3-(3)	給食の充実と食育の推進	3	0	0	0	3
I-3-(4)	健康・安全・防災教育の推進	3	0	0	0	3
4 新たな価値を創造する社会を生きるために必要となる力の育成		10	0	6	6	16
I-4-(1)	情報活用能力の育成	4	0	0	0	4
I-4-(2)	新しい時代に対応できる資質・能力の育成	2	0	1	1	3
I-4-(3)	新たな価値を創造するための教育の推進	4	0	5	5	9
【施策目標】Ⅱ グローバルな社会で活躍する人材を育成する		30	0	11	9	41
5 こころざしを立て将来の夢や理想を実現する人の育成		7	0	3	3	10
Ⅱ-5-(1)	こころざし教育の推進	4	0	0	0	4
Ⅱ-5-(2)	グローバルに活躍する人材の育成	3	0	3	3	6
6 社会的・職業的自立に向けた能力・態度の育成		4	0	3	2	7
Ⅱ-6-(1)	自己の生き方や働き方を考える教育の推進	2	0	3	2	5
Ⅱ-6-(2)	勤労観・職業観の育成とキャリア形成	2	0	0	0	2

施 策 方 向		達成	半数以上 達成	未達成	※	計
施策No.	事 業 名					
7 江戸で培った歴史や伝統を受け継ぐ豊かな感性の醸成		10	0	2	2	12
II-7-(1)	文化・芸術を豊かに感じる心の醸成	3	0	2	2	5
II-7-(2)	郷土の歴史・伝統に対する理解の促進	4	0	0	0	4
II-7-(3)	地元の文化・芸術に触れ愛着と誇りを育む教育の推進	3	0	0	0	3
8 社会の発展に貢献する意欲と責任感の育成		9	0	3	2	12
II-8-(1)	社会に参画しようとする意欲や態度の育成	5	0	1	1	6
II-8-(2)	まちや社会の期待に応える人材の養成	1	0	0	0	1
II-8-(3)	人と人との絆づくりの推進	3	0	2	1	5
合計		86	0	38	33	124

※一覧のうち「※」の欄については、評価に際し、新型コロナウイルス感染症による事業の縮小や中止などを明記した評価「未達成」の内数。

《評価基準》

「達成」・・・目標値と比較して同数以上又は目標項目をすべて実施

「半数以上達成」・・・目標項目が複数ある場合で半数以上が達成

「未達成」・・・目標値と比較して同数未満又は複数の目標項目のうち半数未満が達成



【施策目標Ⅰ 新しい時代に対応する資質・能力を育成する】  
 【施策方向Ⅰ かけがえのない命を大切にす豊かな心の育成】

NO.	I-1-(1)-①	
施策	(1)人権教育の推進	
取組名	①人権尊重教育推進校	
取組の概要	学校における研究を通し、人権教育を推進するとともに、区立小中学校内でその成果を広め、区の人権教育を推進する。	
3 年度 取組 評価	目標 (取組内容)	小学校 5校 中学校 2校
	取組実績	小学校 5校 中学校 2校
	取組の成果	人権課題を理解するとともに、人権教育の指導法について、区内の小中学校への周知・啓発を図るパイロット的役割を担うことができている。
	取組の課題	国や都、区の指定を受け研究を進めており、今後もその取組を広く周知・啓発できるように進めていく。
担当課評価	<b>達成</b>	指導課主催の人権教育研修や各校の研究発表会等で、推進校における人権教育に関わる取組を周知・啓発することができている。

【指導課】

NO.	I-1-(1)-②	
施策	(1)人権教育の推進	
取組名	②人権教育研修会	
取組の概要	人権尊重教育推進校校長会、人権尊重教育推進校研究担当者会、人権教育研修会、全国人権・同和教育研究大会、全国研究集会などの、区立幼稚園・こども園・小学校・中学校の教員を対象とした研修会や先進地域視察を通して、教員の人権意識の向上を図る。あわせて、生命の尊さと自他の生命を尊重する指導の改善のために、校内研究を工夫する。	
3 年度 取組 評価	目標 (取組内容)	研修会 年7回
	取組実績	研修会 年2回（新型コロナウイルス感染症対策により、5回中止）
	取組の成果	今日的な人権課題に応じた研修内容を設定している。
	取組の課題	研修等で取り扱った内容等について、各校の人権教育担当者が校内で周知することで、教員の人権意識の向上を図っている。今後もさらに推進する必要がある。
担当課評価	<b>未達成</b>	新型コロナウイルス感染症拡大によって中止を余儀なくされたため。

【指導課】



【施策目標Ⅰ 新しい時代に対応する資質・能力を育成する】  
 【施策方向Ⅰ かけがえのない命を大切にする豊かな心の育成】

N0.	I-1-(1)-③	
施 策	(1)人権教育の推進	
取 組 名	③男女共同参画の推進	
取組の概要	性に関する基礎的・基本的な内容を、児童・生徒の発達段階に応じて正しく理解させ、相手を尊重し、男女ともに協力し合う社会の形成に寄与することにつながる指導を実施・推進する。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	実施
	取 組 実 績	実施
	取 組 の 成 果	保健の授業等で正しく理解をさせるとともに、健康診断時には養護教諭からも指導を行う等、各校において計画的に指導に当たっている。
	取 組 の 課 題	発達の早熟化により、指導の内容と実態が一部かい離している状況がみられる。
担当課評価	達成	各校において計画的に実施しているため。今後も、児童・生徒の性に関する正しい知識を培っていく。

【指導課】

N0.	I-1-(1)-⑦	
施 策	(1)人権教育の推進	
取 組 名	⑦福祉体験・奉仕活動体験の推進	
取組の概要	区立全小中学校において、人権課題「高齢者」「障害者」に関する児童・生徒の知的理解を深め、人権感覚の高揚を図るとともに、他者や地域のための奉仕活動体験を通して、社会貢献の精神を育成し、社会に貢献しようとする意欲を高める。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	全小中学校（実施）
	取 組 実 績	全小中学校（実施）
	取 組 の 成 果	総合的な学習の時間において、人権課題についての理解を深めさせるだけでなく、地域との交流活動等に取り組んでいる。
	取 組 の 課 題	新型コロナウイルス感染症感染拡大により、直接交流が困難である場合がある。
担当課評価	達成	オンライン交流等、新たな交流の形式も取り入れて実施することができたため。

【指導課】

【施策目標Ⅰ 新しい時代に対応する資質・能力を育成する】  
 【施策方向Ⅰ かけがえのない命を大切にす豊かな心の育成】

N0.	I-1-(2)-①	
施 策	(2)生命尊重の教育の推進	
取 組 名	①いじめ相談カードの配布	
取組の概要	いじめの早期発見・解決のために、区立小中学校の児童・生徒の入学時に「いじめ相談カード」を配布し、専門の相談による相談が受けられることを周知する。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	カード配布 小中1年生全員
	取 組 実 績	小中1年生 全員配布
	取 組 の 成 果	児童・生徒の入学時に「いじめ相談カード」を配布することで、学校以外の相談窓口についての周知・啓発が図られている。
	取 組 の 課 題	児童・生徒入学後も定期的に相談に関する情報提供を継続していくことが重要である。
担当課評価	達成	小中1年生全員にいじめ相談カードが配布されているため。

【指導課】

N0.	I-1-(2)-②	
施 策	(2)生命尊重の教育の推進	
取 組 名	②スマートフォンルール	
取組の概要	区立小中学校の児童・生徒に対し、スマートフォンの使い方を周知し、いじめや犯罪被害につながる行為を未然に防止する方法を、子供と保護者が共に考えることができるようにする。また、実態に応じて、SNS等の利用に係るルールを見直し、適切な使用ができるよう周知を図る。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	実施
	取 組 実 績	実施
	取 組 の 成 果	各学校におけるルールの策定が図られ、保護者へのルールの周知により啓発を図っている。
	取 組 の 課 題	各学校におけるルールを児童・生徒及び保護者等の状況に応じて見直していくことが重要である。
担当課評価	達成	小中学校でのSNS等の利用に係るルールの策定が行われ、スマートフォン等の使い方に関する安全指導を実施したため。

【指導課】

【施策目標Ⅰ 新しい時代に対応する資質・能力を育成する】  
【施策方向Ⅰ かけがえのない命を大切にす豊かな心の育成】

N0.	I-1-(2)-③	
施 策	(2)生命尊重の教育の推進	
取 組 名	③生活指導・健全育成指導の充実	
取組の概要	区立各幼稚園・こども園・小学校・中学校の生活指導上の課題を共有し、解決策を協議するとともに、学校園の生活指導・健全育成を担う生活指導主任等の資質の向上を図り、校内における生活指導・健全育成指導の充実を目指す。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	校種別研修会を実施。 月1回
	取 組 実 績	校種別研修会を実施。 月1回
	取 組 の 成 果	警察等の関係諸機関と連携し、情報共有することにより、全校園の生活指導・健全育成指導が充実している。
	取 組 の 課 題	学校園と専門家及び関係機関との連携をさらに充実させていくことが重要である。
担当課評価	達成	コロナの感染状況に応じて開催方法を工夫するなどして、全ての研修を行うことができたため。

【指導課】

N0.	I-1-(2)-④	
施 策	(2)生命尊重の教育の推進	
取 組 名	④スクールカウンセラーの派遣	
取組の概要	区立全小中学校にスクールカウンセラーを配置し、児童・生徒へのカウンセリング、教職員や保護者への指導や助言、教育相談を行い、各学校におけるカウンセリング機能を充実させ、いじめや不登校等の問題解決及び早期発見に努める。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	カウンセラー派遣 小学校 週3回 中学校 週2回
	取 組 実 績	カウンセラー派遣 小学校 週3回 中学校 週2回
	取 組 の 成 果	児童・生徒及び保護者の学校生活上の課題に心理の専門的知見から適切かつ迅速に対処するとともに、校内における情報共有が図られている。
	取 組 の 課 題	カウンセラー同士の交流できる場を設定することで、効果的な事例を発信し合い、さらにカウンセラーの効果が上がるものとする。
担当課評価	達成	全小中学校におけるカウンセラー配置を実施したため。

【指導課】

【施策目標Ⅰ 新しい時代に対応する資質・能力を育成する】  
 【施策方向Ⅰ かけがえのない命を大切にす豊かな心の育成】

N0.	I-1-(3)-①	
施 策	(3)規範意識や思いやりの心の育成、道徳教育の充実	
取 組 名	①心の教育の推進	
取組の概要	地域のすべての大人たちが子供たちを育てるという意識のもと、子供たちの豊かな心を育むため、家庭・地域・学校・関係機関等が連携し、心の教育を推進する。全11地区で「あいさつ運動」や、講演会の開催等の事業に取り組む。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	全11地区で「あいさつ運動」等の活動を行うことで、台東区の美しい心を育む。
	取 組 実 績	台東区の美しい心づくりコンクールの開催、心の教育推進区民大会の開催、声かけ運動の実施など。
	取 組 の 成 果	上記取組みにより、子供の豊かな心を育む「美しい心づくり」に寄与していると考えられる。
	取 組 の 課 題	地区により取り組みの差が見られるため、必要に応じて関係機関の活動を喚起・後押しすることが必要である。
担当課評価	達成	新型コロナウイルス感染症の中でも「台東区の美しい心づくりコンクール」や「心の教育推進区民大会」、「声かけ運動」を実施することができたため。

【生涯学習課】

N0.	I-1-(3)-②	
施 策	(3)規範意識や思いやりの心の育成、道徳教育の充実	
取 組 名	②ノーテレビデーの呼びかけ	
取組の概要	家庭においてお話や読み聞かせ等を通じた触れ合いの時間を過ごす環境づくりを推進するため、月に1日をノーテレビデーとして、テレビや家庭用ゲーム機、携帯型ゲーム機をつけずに過ごす日の大切さを呼びかける。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	月1回 実施
	取 組 実 績	月1回 実施
	取 組 の 成 果	家庭への協力によって児童・生徒の健全育成の一助となっている。
	取 組 の 課 題	児童・生徒の生活実態に合わせた指導の在り方について整理し、より具体的な指導となるよう見直しを図ることが大切である。
担当課評価	達成	児童・生徒への具体的な指導とともに、学校を通して保護者への啓発が図られているため。

【児童保育課、指導課】

【施策目標Ⅰ 新しい時代に対応する資質・能力を育成する】  
【施策方向Ⅰ かけがえのない命を大切にす豊かな心の育成】

N0.	I-1-(3)-③	
施 策	(3)規範意識や思いやりの心の育成、道徳教育の充実	
取 組 名	③道徳授業地区公開講座の実施	
取組の概要	区立小中学校で「道徳授業地区公開講座」を開催し、保護者や地域の方々と共に道徳上の課題について考え、子供たちの道徳性の向上に努める。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	全小中学校で実施。
	取 組 実 績	全小中学校で実施した。 講座参加者数(校種別平均) 小学校 現地1940名 リモート685名 中学校 現地 328名 リモート 0名
	取組の成果	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、参集型だけでなく、オンライン型やハイブリット型で実施する等、各校で工夫をして公開することができた。
	取組の課題	中学校ではリモート参加者が0名であった。中学校においても、オンライン等による開催方法を工夫し、地域への公開をめざす。
担当課評価	達成	工夫をしながら、全小中学校で道徳授業地区公開講座を実施することができたため。

【指導課】

N0.	I-1-(3)-④	
施 策	(3)規範意識や思いやりの心の育成、道徳教育の充実	
取 組 名	④花の心プロジェクト	
取組の概要	学校園を中心とし、子供たちと地域と一緒に花を育てることで、子供たちに花の心を育む活動を推進する。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	子供たちが花を育てたり鑑賞したりすることにより、花を見て美しいと感じる心を育む。学校園の呼びかけで保護者や地域の方と協働して「花育」に取り組む。
	取 組 実 績	区立幼稚園・保育園での親子栽培や、学校内外でのフラワーアレンジメント等の取組を実施した。また、フラワーサポーターの登録数も増加し、学校園を中心に「花育」に取り組んだ。
	取組の成果	「自分の育てている植物に愛着をもつことで成長や変化に関心をもち、気付きや発見を楽しんだ」、「花の栽培を通して愛情をもつようになり、大切に育てようとする心が育まれた」等、花の心を育むことができた。
	取組の課題	コロナの影響により、学校園が保護者や地域と協働して取り組む機会が減少しているため、地域に根差した事業となるよう工夫して取り組んでいくとともに、私立の保育園・幼稚園とも協働して取り組んでいく必要がある。
担当課評価	達成	学校園を中心に、子供たちが花を育てたり鑑賞したりすることにより、花を見て美しいと感じる心を育むことができているため。

【庶務課、児童保育課、指導課】

【施策目標Ⅰ 新しい時代に対応する資質・能力を育成する】  
 【施策方向Ⅰ かけがえのない命を大切にする豊かな心の育成】

N0.	I-1-(3)-⑤	
施 策	(3)規範意識や思いやりの心の育成、道徳教育の充実	
取 組 名	⑤中学校における武道の授業	
取組の概要	区立中学校保健体育における武道の授業において、安全の確保と体力・運動能力の向上を図ることはもとより、武道を通して精神的な強さを身に付けるとともに、他者に対する思いやりと感謝の心を育成する。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	武道の授業 実施 全中学校
	取 組 実 績	全中学校で実施している。
	取 組 の 成 果	各中学校において、柔道又は剣道を選択。コロナ禍において実施方法を工夫しながら取り組んでいる。
	取 組 の 課 題	コロナ禍において、本格的な組手等による授業の実施の判断が難しいので、適切な判断が求められる。
担当課評価	達成	全中学校において武道の授業が実施されているため。

【指導課】



【施策目標Ⅰ 新しい時代に対応する資質・能力を育成する】  
 【施策方向Ⅰ かけがえのない命を大切にす豊かな心の育成】

N0.	I-1-(4)-①	
施 策	(4)困難を乗り越え、物事を成し遂げる力を育むための教育活動の推進	
取 組 名	①農業体験学習	
取 組 の 概 要	都外の農地を借上げ、実施対象校において区立小中学校の児童・生徒が耕地、作物の植付けから収穫までの一連の活動を行い、収穫後の作物を自校や家庭で調理するなどの体験をする。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	農業体験 小学校 1校 中学校 1校
	取 組 実 績	事業廃止
	取 組 の 成 果	—
	取 組 の 課 題	—
担当課評価	未達成	事業内容の見直しにより、事業を廃止したため。

【指導課】

N0.	I-1-(4)-②	
施 策	(4)困難を乗り越え、物事を成し遂げる力を育むための教育活動の推進	
取 組 名	②体験を広げるスクールバスの活用	
取 組 の 概 要	区立幼稚園・こども園・小学校・中学校の自然学習や施設見学などの校内外学習用及び区立小中学校の特別支援学級行事用としてスクールバスを活用し、教科等の学習の場を校内外に移し、充実した自然・芸術・社会体験等を実施する。また区立保育園でもバスを活用して園外保育を実施する。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	実施
	取 組 実 績	区立小中学校・幼稚園・こども園・保育園において概ね実施することができた。
	取 組 の 成 果	バスを活用し、校内外に学習の場を移すことで、充実した自然や芸術に触れる機会を提供することができた。
	取 組 の 課 題	コロナ禍においても、事業を安定的かつ継続的に実施していく必要がある。
担当課評価	達成	各学校園において、概ね実施することができた。

【学務課、児童保育課、指導課】

【施策目標Ⅰ 新しい時代に対応する資質・能力を育成する】  
 【施策方向Ⅰ かけがえのない命を大切にする豊かな心の育成】

N0.	I-1-(4)-③	
施 策	(4)困難を乗り越え、物事を成し遂げる力を育むための教育活動の推進	
取 組 名	③ボランティア活動の推進	
取組の概要	区立小中学校の児童・生徒が学校・地域・社会に奉仕するために、児童会・生徒会等が中心となって、地域・社会への奉仕活動を企画・運営したり、自発的に参加したりする活動を推進する。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	ボランティア活動 全小中学校
	取 組 実 績	全小中学校で実施。
	取 組 の 成 果	各小中学校において、児童会や生徒会が中心となって、清掃活動や挨拶運動などを実施している。
	取 組 の 課 題	児童・生徒の主体性をより引き出すための効果的な支援が必要である。
担当課評価	達成	全小中学校においてボランティア活動が実施されているため。

【指導課】



【施策目標Ⅰ 新しい時代に対応する資質・能力を育成する】  
 【施策方向Ⅰ かけがえのない命を大切にする豊かな心の育成】

N0.	I-1-(5)-①	
施 策	(5)文化・芸術に触れる体験の充実	
取 組 名	①小中学校音楽鑑賞教室	
取組の概要	年1回、区立の小学校第5学年、中学校第1学年を対象に、管弦楽団の生の演奏に触れる機会を設け、音楽に親しむ態度を育成する。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	各校年1回
	取 組 実 績	各校年1回
	取 組 の 成 果	管弦楽団の生の演奏に触れ、音楽に親しむことができた。
	取 組 の 課 題	台東区教育研究会音楽部の運営面の負担軽減を図る必要がある。
担当課評価	達成	全校において実施することができたため。

【指導課】

N0.	I-1-(5)-②	
施 策	(5)文化・芸術に触れる体験の充実	
取 組 名	②小中学校連合音楽会	
取組の概要	区立小中学校の児童・生徒が、日ごろの音楽学習の成果を相互に発表・鑑賞することにより、創造力・表現力に富む情操を育てるとともに演奏技術の向上、鑑賞指導の充実を図る。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	連合音楽発表会 小学校の約半数 全中学校実施
	取 組 実 績	新型コロナウイルス感染症により中止。
	取 組 の 成 果	—
	取 組 の 課 題	—
担当課評価	未達成	新型コロナウイルス感染症により中止したため。

【指導課】

【施策目標Ⅰ 新しい時代に対応する資質・能力を育成する】  
 【施策方向Ⅰ かけがえのない命を大切にする豊かな心の育成】

N0.	I-1-(5)-③	
施 策	(5)文化・芸術に触れる体験の充実	
取 組 名	③小学校のオーケストラや金管バンドなどの活動の支援	
取組の概要	東京都交響楽団の厚意により、「東京都交響楽団アーティスト交流」として金管楽器や打楽器等演奏者の専門家の派遣を希望する区立小学校に、オーケストラ等指導の補助指導員を配置する。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	実施
	取 組 実 績	コロナの影響により、実施できなかった。
	取 組 の 成 果	コロナの影響により、東京都交響楽団からの要請がなかったため実施しておらず、取組成果なし。
	取 組 の 課 題	来年度以降、取組の目的から見直し、改めて連携を検討する。
担当課評価	未達成	コロナの影響により実施できなかったため。

【指導課】

N0.	I-1-(5)-④	
施 策	(5)文化・芸術に触れる体験の充実	
取 組 名	④器楽教育の充実	
取組の概要	区立小中学校の音楽の授業やクラブ・部活動指導の充実のため、学校のニーズに応じた楽器演奏家を調整して配置する。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	小 1校あたり12時間 中 1校あたり30時間
	取 組 実 績	なし
	取 組 の 成 果	なし
	取 組 の 課 題	音楽の授業やクラブ・部活動指導の充実のための取組であったが、目的外に使用されることがあった。また、教育活動アシスタントの取組で代替できている。
担当課評価	未達成	他の取組で目標に対応していて、実績がないため。

【指導課】

【施策目標Ⅰ 新しい時代に対応する資質・能力を育成する】  
 【施策方向Ⅰ かけがえのない命を大切にす豊かな心の育成】

N0.	I-1-(5)-⑤	
施 策	(5)文化・芸術に触れる体験の充実	
取 組 名	⑤楽器有効活用	
取組の概要	楽器を有効活用するため、楽器の所蔵（楽器購入、活用されていない各校所蔵の楽器を教育委員会に移管）、楽器の修理、維持管理、楽器貸し出しを行う。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	充実
	取 組 実 績	充実
	取 組 の 成 果	器楽教育を通して児童生徒の情操教育が高められている。
	取 組 の 課 題	全て貸出中で新たな貸出希望に対応できない楽器が数種類ある。 教育現場の希望を汲み取り、柔軟に対応できるよう選定方法、貸出時期及び貸出ルールを検討する。
担当課評価	<b>達成</b>	器楽教育を受ける機会を増やすことにより、児童生徒の情操教育向上を図ったため。

【庶務課】

N0.	I-1-(5)-⑥	
施 策	(5)文化・芸術に触れる体験の充実	
取 組 名	⑥学びのキャンパスプランニング	
取組の概要	区内の博物館・美術館などの文化施設や、台東区にゆかりのある企業・団体・学識経験者、江戸の伝統文化について講義する講師などと連携して、「台東区学校教育ビジョン」の実現に向けたプランを作成する。学校園では自校園に合ったプランを選択し、実施する。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	下記のとおりプログラム（プラン）を設ける。 年130
	取 組 実 績	下記のとおりプログラム（プラン）を設け、実施した。 プログラム（プラン）数 年129 プログラム（プラン）実施数 年143
	取 組 の 成 果	「台東区立学校園版感染症予防ガイドライン」を遵守しながら事業を実施したことで、台東区の歴史や文化伝統に誇りをもち、地域を愛し、自ら行動できる『ひとつづくり』を実現した。
	取 組 の 課 題	感染症の拡大等、社会情勢の変化により事業が中止となる可能性があり、実施方法や内容の見直しによって安定的な事業運営を図る必要がある。
担当課評価	<b>未達成</b>	年間を通して継続的に事業実施に取り組むことはできたものの、事業者から提供されるプランの数に関しては、コロナの影響で計画の目標値に及ばなかったため。

【指導課】

【施策目標Ⅰ 新しい時代に対応する資質・能力を育成する】  
 【施策方向Ⅰ かけがえのない命を大切にす豊かな心の育成】

N0.	I-1-(5)-⑦	
施 策	(5)文化・芸術に触れる体験の充実	
取 組 名	⑦小学校演劇鑑賞教室(能・狂言の鑑賞)	
取組の概要	区立小学校6年生を対象に浅草公会堂において、年1回、日本の文化的な伝統芸能(能・狂言)を鑑賞する機会を設け、日本の伝統文化に対する理解を深める。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	小学校演劇鑑賞教室 各校年1回
	取 組 実 績	小学校演劇鑑賞教室 各校年1回(DVD配布による)
	取組の成果	能や狂言を鑑賞する機会を通して、日本の伝統文化に対する理解と愛着を深めている。
	取組の課題	事前・事後指導を各校の実態に合わせて充実させることが重要である。
担当課評価	達成	小学校演劇鑑賞教室を各校年1回実施しているため。

【指導課】

N0.	I-1-(5)-⑧	
施 策	(5)文化・芸術に触れる体験の充実	
取 組 名	⑧東京藝術大学の学生等による音楽、部活動等への指導	
取組の概要	区立中学校生徒を対象に、東京藝術大学、同大学院の学生及び卒業生による中学校音楽科授業及び部活動における指導を通して演奏技術の向上及び音楽に対する興味・関心を高める。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	東京藝術大学学生による指導 実施
	取 組 実 績	コロナの影響により、実施できなかった。
	取組の成果	コロナの影響により、藝大からの要請がなかったため実施しておらず、取組成果なし。
	取組の課題	来年度以降、取組の目的から見直し、改めて連携を検討する。
担当課評価	未達成	コロナの影響により実施できなかったため。

【指導課】

【施策目標Ⅰ 新しい時代に対応する資質・能力を育成する】  
 【施策方向Ⅰ かけがえのない命を大切にする豊かな心の育成】

N0.	I-1-(5)-⑨	
施 策	(5)文化・芸術に触れる体験の充実	
取 組 名	⑨上野学園大学の学生等による音楽、課外活動等への指導	
取組の概要	区立小中学校児童・生徒を対象に、上野学園大学の学生による音楽科授業及び部活動における指導を通して演奏技術の向上及び音楽に対する興味・関心を高める	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	実施
	取 組 実 績	実施
	取 組 の 成 果	上野学園大学の学生による音楽科等授業における指導を通して音楽等に対する興味・関心を高められた。
	取 組 の 課 題	上野学園大学が令和3年度より学生募集停止を決めており、今後の学生確保が困難となる。
担当課評価	<b>達成</b>	実績があり、実績に見合う成果も見られるため。

【指導課】

【施策目標Ⅰ 新しい時代に対応する資質・能力を育成する】

【施策方向Ⅱ 子供の資質・能力の育成と学習習慣の確立】

N0.	I-2-(1)-①	
施 策	(1)基礎・基本を身に付ける教育の推進	
取 組 名	①学力向上推進ティーチャー	
取組の概要	区立小中学校での主要教科の少人数指導やチームティーチング、学力向上を推進するため、講師を配置する。また、放課後等に児童・生徒の希望者へ学習指導を行い、学力向上を図る。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	実施
	取 組 実 績	実施
	取 組 の 成 果	全校に講師を配置し、主要教科の少人数指導やチームティーチング、学力向上を推進するとともに、放課後等に希望者には補習を行うことができた。
	取 組 の 課 題	放課後補習の効果的な実施方法等については、さらに検討を重ねていく必要がある。
担当課評価	達成	全校に講師を配置しているため。

【指導課】

N0.	I-2-(1)-②	
施 策	(1)基礎・基本を身に付ける教育の推進	
取 組 名	②教育活動アシスタント	
取組の概要	教職員を志望する大学生などのボランティア指導者を区立小中学校に配置し、授業補助や個別指導などを行うことで、主体的に学ぶ機会を充実させ、学習意欲を高めるとともに、基礎的・基本的な学力の向上や学習習慣の定着を図ります。また、授業準備などの教育活動を補助し、教員の業務負担の軽減を図ります。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	実施
	取 組 実 績	実施
	取 組 の 成 果	児童生徒への個別対応を行うことにより、主体的に取り組む姿勢を育んでいる。
	取 組 の 課 題	事業や効果的な活用方法について、学校間での認識に差がある。
担当課評価	達成	全校に配置しているため。 効果的な活用については、今後も研究が必要である。

【指導課】

【施策目標Ⅰ 新しい時代に対応する資質・能力を育成する】

【施策方向Ⅱ 子供の資質・能力の育成と学習習慣の確立】

NO.	I-2-(1)-③	
施策	(1)基礎・基本を身に付ける教育の推進	
取組名	③学習支援講座「ステップ・アップ」	
取組の概要	家庭の経済的事情により十分な学習機会がないが、基礎学力の補充が必要で、学習意欲のある区立中学校の生徒を対象に外部人材を活用し、1年生、2年生については学力向上を目的とした講座を、3年生については進路対策を目的とした講座を実施する。	
3 年度 取組 評価	目標 (取組内容)	講座の実施。
	取組実績	事業を廃止。
	取組の成果	—
	取組の課題	—
担当課評価	未達成	他の取組で目標に対応しており、事業を廃止したため。

【指導課】

NO.	I-2-(1)-④	
施策	(1)基礎・基本を身に付ける教育の推進	
取組名	④授業改善推進プランの活用	
取組の概要	文部科学省の「学力・学習状況調査」、区の「総合学力調査」の結果を基に、区立小中学校の児童・生徒の学習状況を把握・分析し、子供の実態にあった効果的な授業のための改善を行う。授業改善推進プランは、地域・家庭に向けてホームページ等で公開する。	
3 年度 取組 評価	目標 (取組内容)	検証・改善 全小中学校
	取組実績	全小中学校で実施。
	取組の成果	学力調査の結果を区のホームページに公表するとともに、各学校の授業改善プランの内容を変更し、各校のホームページに掲載した。
	取組の課題	各校では授業改善プランにそって授業改善を行い、検証を行っている。保護者や地域の方々にさらに周知していくことが課題である。
担当課評価	達成	全小中学校における授業改善推進プランを学力調査結果に基づき改訂し、公表しているため。

【指導課】



【施策目標Ⅰ 新しい時代に対応する資質・能力を育成する】

【施策方向Ⅱ 子供の資質・能力の育成と学習習慣の確立】

NO.	I-2-(1)-⑤	
施策	(1)基礎・基本を身に付ける教育の推進	
取組名	⑤学校図書館司書活用による読書活動の充実	
取組の概要	区立小中学校に学校図書館司書を配置し、児童・生徒が利用しやすい学校図書館整備を行い、児童・生徒が本に親しんだり、本から知識等を習得したりできるようにする。	
3 年度 取組 評価	目標 (取組内容)	司書配置 小学校 週2回 中学校 週1回
	取組実績	小学校 週2回 中学校 週1回
	取組の成果	目標どおりに学校図書館司書を配置し、児童・生徒が利用しやすい学校図書館整備を行った。
	取組の課題	学校によって貸出冊数に差があるので、より児童・生徒が本に親しみ、本から知識等を習得できるようにする。
担当課評価	達成	全小中学校に目標どおり配置できたため。

【指導課】

NO.	I-2-(1)-⑥	
施策	(1)基礎・基本を身に付ける教育の推進	
取組名	⑥読書習慣定着のための取組の充実	
取組の概要	区立小中学校において、読書週間・朝読書等、読書することの意義を理解できる取組を実施し、児童・生徒の読書習慣の定着を図る。	
3 年度 取組 評価	目標 (取組内容)	読書週間定着に向けた取組の充実 全小中学校
	取組実績	全小中学校で実施。
	取組の成果	各学校において朝読書等を行い、読書習慣が定着している。
	取組の課題	今後も継続して児童・生徒の読書習慣の定着を図る。
担当課評価	達成	全小中学校で実施できているため。

【指導課】



【施策目標Ⅰ 新しい時代に対応する資質・能力を育成する】  
 【施策方向Ⅱ 子供の資質・能力の育成と学習習慣の確立】

N0.	I-2-(2)-①	
施 策	(2)自ら学び考える教育の推進	
取 組 名	①言語活動を取り入れた授業の充実	
取組の概要	区立小中学校で言語活動を取り入れた授業等を充実することにより、児童・生徒が主体的に考え判断し表現することができる能力を高めます。言語活動を通して身に付けたい力を明確にするとともに、指導の工夫・改善を図る。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	言語活動を取り入れた授業 充実 全小中学校
	取 組 実 績	全小中学校で実施。
	取 組 の 成 果	主体的・対話的で深い学びの実現という新学習指導要領の改訂を受け、各校、全教科等を通じて言語活動を取り入れた授業の充実が図られた。
	取 組 の 課 題	コロナ禍により、対面しての話し合い活動に一部制限が設けられ、工夫が必要な時期があった。言語活動を取り入れることで、各教科等の見方考え方が深まる指導方法の工夫改善にさらに努める必要がある。
担当課評価	達成	全小中学校において言語活動を取り入れた授業の充実を行っているため。

【指導課】

N0.	I-2-(2)-②	
施 策	(2)自ら学び考える教育の推進	
取 組 名	②学校図書館を活用した授業の推進	
取組の概要	区立小中学校の児童・生徒が、学習課題を解決するために必要な情報を見極め、利用していく能力を高めていくことを目指し、学校図書館を活用した授業を推進する。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	学校図書館を活用した授業 推進 全小中学校
	取 組 実 績	全小中学校で推進。
	取 組 の 成 果	学校図書館の「読書センター」機能及び「学習・情報センター」機能を生かし、授業での積極的な活用が図られている。
	取 組 の 課 題	学校図書館活用の好事例をより広く発信し、区民の理解を得ることが重要である。
担当課評価	達成	全小中学校で学校図書館の活用した授業の推進が図られているため。

【指導課】

【施策目標Ⅰ 新しい時代に対応する資質・能力を育成する】

【施策方向Ⅱ 子供の資質・能力の育成と学習習慣の確立】

NO.	I-2-(2)-③	
施 策	(2)自ら学び考える教育の推進	
取 組 名	③情報モラル教育の推進	
取組の概要	区立小中学校の児童・生徒が、情報社会での行動に責任をもち、情報を見極めるとともに正しく安全に利用する判断力を身に付ける。また、コンピュータなどの情報機器、スマートフォンを適切に使用することができるように、様々な教育活動を通して指導するとともに、家庭や地域との連携を図る。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	情報モラル教育 推進 全小中学校
	取 組 実 績	全小中学校で推進。
	取組の成果	「SNS学校ルール」の見直しや学習者用端末を使用する際のルールを確認したり、パスワードは他者に知られることのないように情報モラル教育を推進した。また「台東区立学校版SNS・インターネット活用ルール」及び保護者向けリーフレットを配布し、児童・生徒及び各家庭への啓発を行った。
	取組の課題	引き続き、学習者用端末やSNS等を使用する際のルールを確認したり、情報モラル教育をより推進していく。
担当課評価	達成	小中学校でのSNS等の利用に係るルールの策定が行われ、スマートフォン等の使い方に関する安全指導が実施されているため。

【指導課】

【施策目標Ⅰ 新しい時代に対応する資質・能力を育成する】

【施策方向Ⅱ 子供の資質・能力の育成と学習習慣の確立】

N0.	I-2-(3)-①	
施 策	(3)学びに向かう力、人間性の涵養	
取 組 名	①学習習慣定着に向けての啓発	
取組の概要	区立小中学校の児童・生徒が、家庭で主体的に復習や予習をする習慣を身に付けることができるよう、学校を通して積極的に各家庭への啓発を行う。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	家庭への啓発の実施 全小中学校
	取 組 実 績	全小中学校で実施。
	取 組 の 成 果	区立小中学校の児童・生徒が、家庭で主体的に復習や予習をする習慣を身に付けることができている。
	取 組 の 課 題	様々な家庭環境があったり、支援が必要な児童・生徒がいたりするため、個に応じた学習習慣の定着については今後も家庭との連携が必要である。
担当課評価	達成	全小中学校で家庭への啓発ができ、成果があるため。

【指導課】

N0.	I-2-(3)-②	
施 策	(3)学びに向かう力、人間性の涵養	
取 組 名	②「連携の日」を通じた生活指導・学習習慣の定着	
取組の概要	区立幼稚園（一部私立含む）・保育園・小学校・中学校の園児・児童・生徒の基礎学力の定着・向上及び一貫した生活指導を図る。そのため、ファミリー（中学校区ごとの学校園グループ）に属する教員等の相互交流を深めることを目的として、年2回の「連携の日」を設ける。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	全学校園年2回以上
	取 組 実 績	全学校園年2回実施（書面開催も含む）
	取 組 の 成 果	授業や保育を公開し、相互に参観することを通して、幼児・児童・生徒の実態を理解するとともに、教員の交流を深めることができた。
	取 組 の 課 題	幼・保・小・中の接続を意識した取組の工夫や、協議内容について充実を図る必要がある。
担当課評価	達成	年2回の「連携の日」を実施したため。

【指導課】

【施策目標Ⅰ 新しい時代に対応する資質・能力を育成する】

【施策方向Ⅱ 子供の資質・能力の育成と学習習慣の確立】

N0.	I-2-(3)-③	
施 策	(3)学びに向かう力、人間性の涵養	
取 組 名	③長期休業期間中や放課後の補充学習の実施	
取組の概要	区立小中学校の児童・生徒が、主体的に課題意識をもって補充学習等に参加し、学力の定着による自己有用感を得ることにより、学習への意欲が高められるようにする。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	全小中学校 実施
	取 組 実 績	全小中学校 実施
	取組の成果	児童生徒への個別対応を行うことにより、主体的に取り組む姿勢を育んでいる。
	取組の課題	効果的な指導方法については、学校間での差がある。
担当課評価	<b>達成</b>	全校において実施しているため。 効果的な活用については、今後も研究が必要である。

【指導課】

N0.	I-2-(3)-④	
施 策	(3)学びに向かう力、人間性の涵養	
取 組 名	④幼稚園・こども園の夏季保育の実施	
取組の概要	園児にとって家庭生活と幼稚園生活の連続性が望ましい状況で保たれるとともに、季節や地域の実態に応じた遊びや生活体験ができるよう、区立幼稚園・こども園で夏季保育を実施する。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	全幼稚園・1こども園
	取 組 実 績	全幼稚園・1こども園
	取組の成果	新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、各園で創意工夫した内容で実施することができ、季節や地域の実態に応じた遊びや生活体験をすることができた。
	取組の課題	夏季休業中に預かり保育を実施している園においては、教員の負担の増加を配慮する必要がある。
担当課評価	<b>達成</b>	全幼稚園・1こども園で実施したため。

【指導課】

【施策目標 I 新しい時代に対応する資質・能力を育成する】

【施策方向 2 子供の資質・能力の育成と学習習慣の確立】

N0.	I-2-(4)	
施 策	(4)主体的・対話的で深い学びの推進	
取 組 名	学力向上推進ティーチャー(再掲)	
取組の概要	区立小中学校での主要教科の少人数指導やチームティーチング、学力向上を推進するため、講師を配置する。また、放課後等に児童・生徒の希望者へ学習指導を行い、学力向上を図る。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	実施
	取 組 実 績	実施
	取 組 の 成 果	全校に講師を配置し、主要教科の少人数指導やチームティーチング、学力向上を推進するとともに、放課後等に希望者には補習を行うことができた。
	取 組 の 課 題	放課後補習の効果的な実施方法等については、さらに検討を重ねていく必要がある。
担当課評価	達成	全校に講師を配置しているため。

【指導課】

N0.	I-2-(4)	
施 策	(4)主体的・対話的で深い学びの推進	
取 組 名	教育活動アシスタント(再掲)	
取組の概要	教職員を志望する大学生などのボランティア指導者を区立小中学校に配置し、授業補助や個別指導などを行うことで、主体的に学ぶ機会を充実させ、学習意欲を高めるとともに、基礎的・基本的な学力の向上や学習習慣の定着を図ります。また、授業準備などの教育活動を補助し、教員の業務負担の軽減を図ります。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	実施
	取 組 実 績	実施
	取 組 の 成 果	児童生徒への個別対応を行うことにより、主体的に取り組む姿勢を育てている。
	取 組 の 課 題	事業や効果的な活用方法について、学校間での認識に差がある。
担当課評価	達成	全校に配置しているため。 効果的な活用については、今後も研究が必要である。

【指導課】

【施策目標Ⅰ 新しい時代に対応する資質・能力を育成する】

【施策方向Ⅱ 子供の資質・能力の育成と学習習慣の確立】

NO.	I-2-(4)-③	
施策	(4)主体的・対話的で深い学びの推進	
取組名	③ICT教育環境を活かした教育の推進	
取組の概要	ICT機器を活用した授業を実施することで、児童・生徒の授業に対する関心や意欲、理解度を高め、情報活用能力の育成を図るとともに、情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度を身に付けさせるため、情報モラル教育を行う。	
3年度取組評価	目標 (取組内容)	児童・生徒用1人1台タブレット、指導者用デジタル教科書等のICT機器活用を推進し、児童・生徒の情報活用能力の育成を推進する。
	取組実績	児童・生徒は1人1台タブレットを学校及び家庭で調べ学習やドリル学習で活用し、教員は指導者用デジタル教科書や電子黒板を活用した授業を実施した。
	取組の成果	教員がICT機器を授業で活用する機会が向上したことで、児童・生徒の情報活用能力の育成に寄与している。また、新型コロナウイルス感染症の拡大期では、オンラインを活用した取組を実施したことで、学びを止めない学校教育を確立した。
	取組の課題	1人1台タブレットの故障台数の増加により修理が完了するまでに時間を要し、タブレットを活用した授業の実施に支障が生じることがある。また、学校によってタブレットを活用する頻度に差が生じているため、好事例を随時紹介するなど、より一層の活用意識の醸成を図る必要がある。
担当課評価	達成	1人1台タブレットを学校と家庭で活用することで、学びを止めない学校教育を実現し、情報活用能力の育成を推進したため。

【指導課】

NO.	I-2-(4)-④	
施策	(4)主体的・対話的で深い学びの推進	
取組名	④学校ICTコンサルティングサービス	
取組の概要	ICT機器を活用した授業づくりや、ホームページ作成を支援する専門スタッフを派遣する。校務事務支援システムによる成績処理やグループウェアの活用方法について、学校訪問等により助言をする。	
3年度取組評価	目標 (取組内容)	区立小中学校、幼稚園、保育園、こども園に専門員を派遣する。
	取組実績	専門員の派遣を実施。 小学校23回、幼稚園2回、保育園1回
	取組の成果	ICT機器を活用した授業や校内研究への指導・助言、タブレットなどの効果的な活用に関する校内研修会の開催など、多様な支援活動を通して、学校園におけるICT教育の充実を図ることができた。
	取組の課題	派遣校園種や施設類型に偏りが見られるため、事業実施の周知方法を検討する必要がある。
担当課評価	達成	新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、要請のあった学校園に専門員を派遣したため。

【教育支援館】



【施策目標Ⅰ 新しい時代に対応する資質・能力を育成する】  
 【施策方向Ⅱ 子供の資質・能力の育成と学習習慣の確立】

N0.	I-2-(4)-⑤	
施 策	(4)主体的・対話的で深い学びの推進	
取 組 名	⑤理科教育アドバイザー派遣	
取組の概要	専門性と経験のある講師が学校を訪問して授業支援・実技研修等の支援を図る。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	実施
	取 組 実 績	実践実技研修（理科教育）を2回実施。
	取 組 の 成 果	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、訪問支援は減少したが、区内の小学校教員を対象とした実践実技研修（理科教育）については、2回開催した。これにより、若手教員並びに理科の学習指導力を高めたい教員を対象として、実験・観察の手法、器具や教材の扱い方、指導展開等への理解を深めることができた。
	取 組 の 課 題	新規採用教員や臨時的任用教員などによる、安全かつ適切な理科指導につなげるため、より多くの参加者を募る必要がある。
担当課評価	<b>達成</b>	新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、実践実技研修（理科教育）を2回実施できたため。

【教育支援館】

【施策目標Ⅰ 新しい時代に対応する資質・能力を育成する】

【施策方向3 豊かな体験活動を通じた健やかな体の育成】

N0.	I-3-(1)-①	
施 策	(1)運動習慣の確立と体力向上の推進	
取 組 名	①体力・運動能力、生活・運動習慣等調査の実施	
取組の概要	東京都統一体力テストを実施することで、区立小中学校の児童・生徒の体力の現状を把握するとともに、その結果を児童・生徒に還元し、一人ひとりが自ら課題をもって体力向上に取り組むことができるようにする。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	調査実施 全小中学校
	取 組 実 績	全小中学校で実施。
	取 組 の 成 果	全小中学校で実施し、結果を児童・生徒に還元することで、一人一人が自分の課題を把握し、体力向上に向けて目標を定め、取り組むことができた。
	取 組 の 課 題	コロナ禍での実施となったため、感染状況を踏まえた対応が必要となり、事前の指導が十分にできていない。
担当課評価	達成	全校で調査を実施したため。

【指導課】

N0.	I-3-(1)-②	
施 策	(1)運動習慣の確立と体力向上の推進	
取 組 名	②連合運動会・連合陸上競技大会	
取組の概要	日々の体育教育活動の発表の場として体育大会を実施することで、団体行動に主体的に取り組む姿勢を養うとともに、運動能力の向上などを促し、健康づくりに役立てる。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	実施
	取 組 実 績	未実施（新型コロナウイルス感染症拡大等による）。
	取 組 の 成 果	－
	取 組 の 課 題	－
担当課評価	未達成	上記理由により未実施のため。

【学務課】



【施策目標Ⅰ 新しい時代に対応する資質・能力を育成する】  
 【施策方向3 豊かな体験活動を通じた健やかな体の育成】

NO.	I-3-(1)-①	
施 策	(1)運動習慣の確立と体力向上の推進	
取 組 名	①チャレンジスポーツ教室	
取組の概要	スポーツが苦手な子供たちがスポーツに対する「苦手意識」を克服し、スポーツの楽しさを感じてもらう教室を開催し、継続してスポーツに親しむことができるきっかけを作る。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	チャレンジスポーツ教室を実施する。
	取 組 実 績	新型コロナウイルスにより中止。
	取 組 の 成 果	－
	取 組 の 課 題	－
担当課評価	未達成	新型コロナウイルスにより事業が中止となったため。

【スポーツ振興課】

【施策目標Ⅰ 新しい時代に対応する資質・能力を育成する】  
【施策方向Ⅲ 豊かな体験活動を通じた健やかな体の育成】

NO.	I-3-(1)-③	
施策	(1)運動習慣の確立と体力向上の推進	
取組名	③運動に親しむ態度の育成	
取組の概要	区立小中学校での体育の時間の指導の充実を図るとともに、運動することの楽しさを味わうことができる環境の整備を図る。また、年間を通して全校体育朝会や異学年での集団による運動遊びを実施するなど、運動の日常化に努める。	
3年度取組評価	目標 (取組内容)	運動の機会推進 全小中学校
	取組実績	全小中学校で推進。
	取組の成果	コロナ禍において、各学校で工夫を凝らし学年体育朝会や、運動遊びを実施するとともに、休憩時間に校庭や体育館等を開放することで運動に日常的に取り組む環境を整えている。
	取組の課題	新型コロナウイルス感染症予防のため、全校での朝会や異学年での運動遊びの設定ができていない。
担当課評価	未達成	各校で工夫をして取組を実施しているが、コロナ禍により十分にできていない部分もあるため。

【指導課】

NO.	I-3-(1)-④	
施策	(1)運動習慣の確立と体力向上の推進	
取組名	④スポーツ推進委員	
取組の概要	スポーツ基本法及び台東区スポーツ推進委員に関する規則に基づき、本区のスポーツ推進のため、スポーツ推進委員を任命し、生涯スポーツの普及、推進を図る。また、区の主催事業や各種研修会などに参加し、企画立案、協力、専門知識の取得を積極的に行う。	
3年度取組評価	目標 (取組内容)	下記のとおり事業の企画運営等を実施する。 主催事業実施回数 27事業
	取組実績	下記のとおり事業の企画運営等を実施。 主催事業実施回数 12事業 主催事業参加者数 375人 研修実績 東京都スポーツ推進委員広域地区別研修会、東京都スポーツ推進委員協議会主催各種研修会等
	取組の成果	新型コロナウイルスの影響により活動が制限される中で、区民に対し、スポーツに親しむ機会を提供することができた。
	取組の課題	スポーツ実施率向上に繋がる新たな企画を立案するため、スポーツに関する区民ニーズの把握が必要である。
担当課評価	未達成	新型コロナウイルス感染拡大により、半数以上の事業が中止となり、目標に達しなかったため。

【スポーツ振興課】

【施策目標Ⅰ 新しい時代に対応する資質・能力を育成する】

【施策方向3 豊かな体験活動を通じた健やかな体の育成】

N0.	I-3-(1)-⑤	
施 策	(1)運動習慣の確立と体力向上の推進	
取 組 名	⑤ラジオ体操会	
取組の概要	区民の健康で明るい生活に寄与するため、ラジオ体操連盟の指導のもと、夏期ラジオ体操会地区大会や各地区・町内会が区内の会場で、ラジオ体操を実施する。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	下記のとおりラジオ体操会場を確保する。 区内 142箇所
	取 組 実 績	下記のとおりラジオ体操会場を確保。 区内 50箇所
	取組の成果	新型コロナウイルス感染拡大により大半の会場が中止となってしまったが、小学校や幼稚園、保育園に夏期ラジオ体操の会場案内を配布することで、親子の参加が増え、ラジオ体操の普及啓発に繋がっている。
	取組の課題	身近な地域の健康活動として事業を確立するために、ラジオ体操連盟と連携を深め、更なる普及啓発に努める必要がある。
担当課評価	未達成	新型コロナウイルス感染拡大により大半のラジオ体操会場が中止となり、目標に達しなかった。

【スポーツ振興課】

N0.	I-3-(1)-⑥	
施 策	(1)運動習慣の確立と体力向上の推進	
取 組 名	⑥プール指導の充実	
取組の概要	学級数が8学級以下の区立小学校で安全かつ充実した水泳指導が実施できるよう、夏季休業期間中の水泳指導において水泳指導講師を配置する。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	該当校プール指導 実施
	取 組 実 績	新型コロナウイルス感染症により中止。
	取組の成果	—
	取組の課題	—
担当課評価	未達成	新型コロナウイルス感染症により中止になったため。

【指導課】

【施策目標Ⅰ 新しい時代に対応する資質・能力を育成する】

【施策方向3 豊かな体験活動を通じた健やかな体の育成】

NO.	I-3-(1)	
施策	(1)運動習慣の確立と体力向上の推進	
取組名	中学校における武道の授業(再掲)	
取組の概要	区立中学校保健体育における武道の授業において、安全の確保と体力・運動能力の向上を図ることはもとより、武道を通して精神的な強さを身に付けるとともに、他者に対する思いやりと感謝の心を育成する。	
3 年度 取組 評価	目標 (取組内容)	武道の授業 実施 全中学校
	取組実績	全中学校で実施している。
	取組の成果	各中学校において、柔道又は剣道を選択。コロナ禍において実施方法を工夫しながら取り組んでいる。
	取組の課題	コロナ禍において、本格的な組手等による授業の実施の判断が難しいので、適切な判断が求められる。
担当課評価	達成	全中学校において武道の授業が実施されているため。

【指導課】

NO.	I-3-(1)-⑧	
施策	(1)運動習慣の確立と体力向上の推進	
取組名	⑧幼児の体力向上支援	
取組の概要	幼児の基礎体力向上と教職員の指導力の向上を図るため、区立の幼稚園・保育園・こども園にスポーツ専門指導員を派遣し、運動習慣の定着を図る。また、園児の体力向上のための事業に対して助成を行うことにより、体力の向上を図る。	
3 年度 取組 評価	目標 (取組内容)	専門指導員の派遣 区立23園 私立幼稚園・保育園等に対する支援
	取組実績	公立園23園、私立幼稚園7園、私立保育園26園、私立こども園2園において事業を実施。
	取組の成果	各園の実施計画に基づき事業を展開し、幼児の体力向上に寄与している。
	取組の課題	区立園においては教職員の指導力向上に対する取り組み、私立保育園においては未実施園等に対する事業の周知を推進していくことが必要である。
担当課評価	達成	区立園は23園でスポーツ専門指導員を派遣している。私立園については各園の取り組みに対する助成により、支援しているため。

【庶務課、学務課、児童保育課、教育支援館】

【施策目標Ⅰ 新しい時代に対応する資質・能力を育成する】

【施策方向3 豊かな体験活動を通じた健やかな体の育成】

N0.	I-3-(1)-⑨	
施 策	(1)運動習慣の確立と体力向上の推進	
取 組 名	⑨幼児運動教室	
取組の概要	成長が著しい幼児期に健やかな心と体作りのため、その特性に合わせた様々な身体の動かし方を学ぶ運動教室を実施する。また、幼児が身体を動かす習慣を作り、体力を向上させる。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	下記のとおり幼児運動教室を実施する。 開催場所 3箇所
	取 組 実 績	下記のとおり幼児運動教室を実施。 開催場所 3箇所
	取組の成果	新型コロナウイルス感染拡大により、一部休止することとなったが、各会場とも利用者が多く、定員を上回る申込みがあり、子供の体力向上に寄与する事業として定着している。
	取組の課題	申込者が定員数を上回っていることから、実施方法について検討するとともに、コロナ禍での幼児が身体を動かす機会を提供する必要がある。
担当課評価	<b>達成</b>	各会場とも定員を上回る申込みがあり、非常にニーズが高く、多くの幼児の身体を動かす習慣作りに寄与している。

【スポーツ振興課】

N0.	I-3-(1)-⑩	
施 策	(1)運動習慣の確立と体力向上の推進	
取 組 名	⑩ジュニア駅伝大会	
取組の概要	児童・生徒が日頃のスポーツの成果を発揮するとともに、ジュニア層のスポーツ振興を図るため、区内在住・在学の小学4年生～6年生、中学生を対象としたジュニア駅伝大会を開催する。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	下記のとおりジュニア駅伝大会を開催する。 参加者 650人
	取 組 実 績	下記のとおりジュニア駅伝大会を開催。 参加者 295人
	取組の成果	コロナ禍において、万全な感染防止対策を講じたうえで、大会を開催することができた。
	取組の課題	参加者の確保に加え、コロナ禍での大会運営について検討が必要である。
担当課評価	<b>未達成</b>	コロナ禍での開催となったため、参加者が目標数に達しなかったため。

【スポーツ振興課】

【施策目標Ⅰ 新しい時代に対応する資質・能力を育成する】

【施策方向3 豊かな体験活動を通じた健やかな体の育成】

N0.	I-3-(2)-①	
施 策	(2)自然体験活動の充実	
取 組 名	①小学校岩井臨海学園	
取組の概要	東京2020大会開催により、事業の実施が困難であるため、代替事業として、児童が都心を離れ集団生活し、友情を育みながら、心身を健全にすることを目的に、常総市宿泊校外学習を実施する。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	全小学校で実施。
	取 組 実 績	代替事業実施：17校 中止：2校
	取 組 の 成 果	コロナ禍においても学びを止めることのないよう、事業の目的に沿った代替事業等を検討し、日常の学校生活では得がたい学習体験を得させることができた。
	取 組 の 課 題	コロナ禍においても、事業を安定的かつ継続的に実施していく必要がある。
担当課評価	未達成	新型コロナウイルス感染症対策の影響による。

【学務課】

N0.	I-3-(2)-②	
施 策	(2)自然体験活動の充実	
取 組 名	②小学校移動教室	
取組の概要	雄大な自然に親しみながら、都会では味わえない学習をするほか、集団生活の中で寝食を共にすることにより、社会性の育成と豊かな情操を養う。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	全小学校で実施。
	取 組 実 績	実施：1校 代替事業実施：17校 中止：1校
	取 組 の 成 果	コロナ禍においても学びを止めることのないよう、事業の目的に沿った代替事業等を検討し、日常の学校生活では得がたい学習体験を得させることができた。
	取 組 の 課 題	コロナ禍においても、事業を安定的かつ継続的に実施していく必要がある。
担当課評価	未達成	新型コロナウイルス感染症対策の影響による。

【学務課】



【施策目標Ⅰ 新しい時代に対応する資質・能力を育成する】

【施策方向3 豊かな体験活動を通じた健やかな体の育成】

N0.	I-3-(2)-③	
施 策	(2)自然体験活動の充実	
取 組 名	③小学校日光林間学園	
取組の概要	清澄な高原で、集団生活を行うことによって、友情を育みながら心身を健全にし、学習意欲と基礎体力の向上を図る。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	全小学校で実施。
	取 組 実 績	実施：16校 代替事業実施：3校
	取組の成果	コロナ禍においても学びを止めることのないよう、事業の目的に沿った代替事業等を検討し、日常の学校生活では得がたい学習体験を得させることができた。
	取組の課題	コロナ禍においても、事業を安定的かつ継続的に実施していく必要がある。
担当課評価	未達成	新型コロナウイルス感染症対策の影響による。

【学務課】

N0.	I-3-(2)-④	
施 策	(2)自然体験活動の充実	
取 組 名	④中学校オリエンテーション	
取組の概要	集団行動を通じて、自ら進んで行動し、規律を守る能力を養い、中学校としての自覚を持たせる。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	希望校全中学校で実施。
	取 組 実 績	未実施
	取組の成果	—
	取組の課題	—
担当課評価	未達成	新型コロナウイルス感染症対策の影響による。

【学務課】



【施策目標Ⅰ 新しい時代に対応する資質・能力を育成する】

【施策方向3 豊かな体験活動を通じた健やかな体の育成】

N0.	I-3-(2)-⑤	
施 策	(2)自然体験活動の充実	
取 組 名	⑤中学校移動教室	
取組の概要	雄大な自然と触れ合い、現地で学習するほか、集団生活を通じて望ましい人間関係を形成とともに、規律を守り、責任感のある生活態度を育む。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	全中学校で実施。
	取 組 実 績	実施：3校（うち1校は特別支援学級） 代替事業実施：4校 中止：1校
	取組の成果	コロナ禍においても学びを止めることのないよう、事業の目的に沿った代替事業等を検討し、日常の学校生活では得がたい学習体験を得させることができた。
	取組の課題	コロナ禍においても、事業を安定的かつ継続的に実施していく必要がある。
担当課評価	未達成	新型コロナウイルス感染症対策の影響による。

【学務課】

N0.	I-3-(2)-⑥	
施 策	(2)自然体験活動の充実	
取 組 名	⑥中学校林間学園	
取組の概要	異学年集団での生活体験を通じて、相互の交流を図り、友情を育みながら心身を鍛える。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	希望校全中学校で実施。
	取 組 実 績	未実施
	取組の成果	—
	取組の課題	—
担当課評価	未達成	新型コロナウイルス感染症対策の影響による。

【学務課】

【施策目標Ⅰ 新しい時代に対応する資質・能力を育成する】

【施策方向3 豊かな体験活動を通じた健やかな体の育成】

N0.	I-3-(2)-⑦	
施 策	(2)自然体験活動の充実	
取 組 名	⑦幼児期の自然体験の充実	
取組の概要	区立幼稚園・保育園・こども園を対象に、園内外において実施する、自然に関わる活動を充実し、園児が自然に親しむ態度が身に付くようにする。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	充実
	取 組 実 績	充実
	取 組 の 成 果	園内外の環境を活用して自然に関わる活動の充実を図ったことで、園児が自然に親しむことができた。
	取 組 の 課 題	自然に親しむ態度には個人差が大きいため、個に応じた指導をより充実させる必要がある。
担当課評価	<b>達成</b>	各園が環境を活用して自然に関わる活動の充実を図ったため。

【児童保育課、指導課】

【施策目標Ⅰ 新しい時代に対応する資質・能力を育成する】

【施策方向3 豊かな体験活動を通じた健やかな体の育成】

NO.	I-3-(3)-①	
施 策	(3)給食の充実と食育の推進	
取 組 名	①学校園の給食の充実	
取組の概要	区立保育園・こども園・小中学校で完全給食を実施し、季節の献立や行事食等を取入れ、安全でおいしく楽しい給食を提供する。また、給食を通して、望ましい食生活について体験的に身につけることができるよう、学校園・家庭・地域の連携に基づき、食育の充実を図る。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	全ての区立保育園、こども園、小中学校で推進する。
	取 組 実 績	全ての区立保育園、こども園、小中学校で給食を実施し、食育の充実を図った。
	取 組 の 成 果	給食では、新型コロナウイルス感染症予防対策として黙食を徹底しているが、季節の献立や行事食を取入れ、安全でおいしい給食を提供した。また、給食だより等を通じて食育について普及啓発を行った。
	取 組 の 課 題	給食においては、新型コロナウイルス感染症予防対策をふまえた中での効果的な取組みが必要であるが、引続き安全でおいしい給食を提供していくことが重要である。
担当課評価	達成	全ての保育園、こども園、全小中学校で完全給食を実施し、給食を通して食育の充実を図っている。

【学務課、児童保育課】

NO.	I-3-(3)-②	
施 策	(3)給食の充実と食育の推進	
取 組 名	②栄養教諭・栄養士との連携による食育の推進	
取組の概要	区立小中学校に配置している栄養士により、各校特色ある献立で給食を実施する。栄養教諭を中心に、東京の地産地消を推進するとともに行事食や郷土食の提供により、食育教材としてより良いものにしていく。栄養教諭・栄養士が食に関する指導の全体計画作成に参画し、学級担任と連携して食育を推進していく。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	区立小中学校全校で食育を推進する。
	取 組 実 績	各校で給食献立に東京の地産地消食材を取入れ、食育教材として活用し、食育の推進に取組んだ。
	取 組 の 成 果	東京の地産地消については、区立小中学校全校で取組むことによって、各校の情報共有ができ、自校での活動や研究の参考となった。
	取 組 の 課 題	現状を把握しながら、食育の推進について、さらなる研究・取組みが必要である。
担当課評価	達成	区立小中学校全校で食育を推進しているため。

【学務課、指導課】

【施策目標Ⅰ 新しい時代に対応する資質・能力を育成する】

【施策方向3 豊かな体験活動を通じた健やかな体の育成】

NO.	I-3-(3)-③	
施 策	(3)給食の充実と食育の推進	
取 組 名	③幼児期における食育の充実	
取組の概要	区立幼稚園・こども園を対象に、幼児に望ましい食習慣を身に付けさせるために、幼児の発達段階に応じた指導を実施し、保護者の理解を深めるための啓発を充実する。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	保護者への啓発。
	取 組 実 績	実施
	取 組 の 成 果	幼児の発達段階に応じた指導を行うとともに、園だよりやホームページ等を通じて、保護者の理解を啓発している。
	取 組 の 課 題	継続した啓発の実施。
担当課評価	達成	全園、こども園で啓発を行った。

【指導課】

【施策目標Ⅰ 新しい時代に対応する資質・能力を育成する】

【施策方向3 豊かな体験活動を通じた健やかな体の育成】

N0.	I-3-(4)-①	
施 策	(4)健康・安全・防災教育の推進	
取 組 名	①学校園の安全教育の推進	
取組の概要	区立学校園の園児・児童・生徒が学校・家庭・地域生活に潜んでいる様々な危険に対する理解を深め、自らの安全を自らの判断で確保できる態度の育成を推進する。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	各学校・園の避難訓練・安全指導 月1回 実施
	取 組 実 績	全学校園で月1回の避難訓練の実施。 全学校園で月1回の安全指導日の設定。
	取組の成果	年間指導計画に沿って計画的な安全指導及び避難訓練が実施されている。
	取組の課題	災害時の行動が素早く適切にとれるよう、毎年年度末に避難訓練の実施形態を見直すとともに、安全指導の内容の見直しを図ることが重要である。
担当課評価	達成	全学校園で目標とする避難訓練・安全教育が実施されていた。

【学務課、児童保育課、指導課】

N0.	I-3-(4)-②	
施 策	(4)健康・安全・防災教育の推進	
取 組 名	②災害発生時に主体的に適切な行動ができる能力を培う学習の推進	
取組の概要	区立幼稚園・こども園・小学校・中学校の園児・児童・生徒に対し、社会科・理科との関連を図りながら、発達段階に応じて、災害の種類・状況・程度に応じた身の安全を確保する知識を深めるとともに判断力を養い、訓練等において実践的行動力を身に付けさせる。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	全幼稚園・こども園・全小中学校 年11回実施
	取 組 実 績	全学校園で月1回(年間11回)の避難訓練の実施。
	取組の成果	年間指導計画に沿って計画的な避難訓練が実施されている。
	取組の課題	災害時の行動が素早く適切にとれるよう、コロナ禍における避難訓練の実施形態の見直しを図ることが重要である。
担当課評価	達成	全学校園で年間計画に沿った避難訓練を実施した。

【指導課】

【施策目標Ⅰ 新しい時代に対応する資質・能力を育成する】

【施策方向3 豊かな体験活動を通じた健やかな体の育成】

N0.	I-3-(4)-③	
施 策	(4)健康・安全・防災教育の推進	
取 組 名	③セーフティ教室の実施	
取組の概要	区立小中学校の児童・生徒の非行や犯罪被害を防止するため、不審者対応・連れ去り防止・薬物乱用防止・喫煙防止・ハイテク犯罪防止等具体的なテーマを設定して、地域・家庭と連携して児童・生徒の健全育成を図る取組みを実施する。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	全小中学校 年1回以上実施
	取 組 実 績	全小中学校 年1回以上実施
	取 組 の 成 果	各校や学年の実態に合わせ、薬物乱用防止やSNSの使い方など、警察等の協力を得て実施している。
	取 組 の 課 題	児童・生徒の実態や時代の流れに即して内容の見直しを検討することが重要である。
担当課評価	達成	全小中学校でセーフティ教室を実施。

【指導課】

【施策目標Ⅰ 新しい時代に対応する資質・能力を育成する】  
 【施策方向4 新たな価値を創造する社会を生きるために必要となる力の育成】

N0.	I-4-(1)-①	
施 策	(1)情報活用能力の育成	
取 組 名	①理科教育の推進	
取組の概要	区立小学校の理科の授業において、実験準備・実験指導を円滑かつ効果的に実施することにより、望ましい実験結果から科学的な考察をすることができるよう、理科支援員を配置する。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	理科支援員配置 実施
	取 組 実 績	実施
	取 組 の 成 果	理科支援員を特に実験準備・実験指導に多くの時間を費やす時期に重点的に配置し、効果的な実験指導を中心とした理科教育の充実が図られている。
	取 組 の 課 題	理科支援員配置の効果についての好事例を発信し、各校で共有していくことが重要である。
担当課評価	達成	小学校における理科支援員配置の実施ができたため。

【指導課】

N0.	I-4-(1)	
施 策	(1)情報活用能力の育成	
取 組 名	理科教育アドバイザー派遣(再掲)	
取組の概要	専門性と経験のある講師が学校を訪問して授業支援・実技研修等の支援を図る。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	実施
	取 組 実 績	実践実技研修(理科教育)を2回実施。
	取 組 の 成 果	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、訪問支援は減少したが、区内の小学校教員を対象とした実践実技研修(理科教育)については、2回開催した。これにより、若手教員並びに理科の学習指導力を高めたい教員を対象として、実験・観察の手法、器具や教材の扱い方、指導展開等への理解を深めることができた。
	取 組 の 課 題	新規採用教員や臨時的任用教員などによる、安全かつ適切な理科指導につなげるため、より多くの参加者を募る必要がある。
担当課評価	達成	新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、実践実技研修(理科教育)を2回実施できたため。

【教育支援館】



【施策目標Ⅰ 新しい時代に対応する資質・能力を育成する】  
 【施策方向4 新たな価値を創造する社会を生きるために必要となる力の育成】

NO.	I-4-(1)	
施 策	(1)情報活用能力の育成	
取 組 名	ICT教育環境を活かした教育の推進(再掲)	
取組の概要	ICT機器を活用した授業を実施することで、児童・生徒の授業に対する関心や意欲、理解度を高め、情報活用能力の育成を図るとともに、情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度を身に付けさせるため、情報モラル教育を行う。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	児童・生徒用1人1台タブレット、指導者用デジタル教科書等のICT機器活用を推進し、児童・生徒の情報活用能力の育成を図る。
	取 組 実 績	児童・生徒は1人1台タブレットを学校及び家庭で調べ学習やドリル学習で活用し、教員は指導者用デジタル教科書や電子黒板を活用した授業を実施した。
	取組の成果	教員がICT機器を授業で活用する機会が向上したことで、児童・生徒の情報活用能力の育成に寄与している。また、新型コロナウイルス感染症の拡大期では、オンラインを活用した取組を実施したことで、学びを止めない学校教育を確立した。
	取組の課題	1人1台タブレットの故障台数の増加により修理が完了するまでに時間を要し、タブレットを活用した授業の実施に支障が生じることがある。また、学校によってタブレットを活用する頻度に差が生じているため、好事例を随時紹介するなど、より一層の活用意識の醸成を図る必要がある。
担当課評価	達成	1人1台タブレットを学校と家庭で活用することで、学びを止めない学校教育を実現し、情報活用能力の育成が図られている。

【指導課】

NO.	I-4-(1)	
施 策	(1)情報活用能力の育成	
取 組 名	情報モラル教育の推進(再掲)	
取組の概要	区立小中学校の児童・生徒が、情報社会での行動に責任をもち、情報を見極めるとともに正しく安全に利用する判断力を身に付ける。また、コンピュータなどの情報機器、スマートフォンを適切に使用することができるように、様々な教育活動を通して指導するとともに、家庭や地域との連携を図る。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	情報モラル教育 推進 全小中学校
	取 組 実 績	全小中学校で推進。
	取組の成果	「SNS学校ルール」の見直しや学習者用端末を使用する際のルールを確認したり、パスワードは他者に知られることのないように情報モラル教育を推進した。また「台東区立学校版 SNS・インターネット活用ルール」及び保護者向けリーフレットの配布について児童・生徒及び各家庭への啓発を行った。
	取組の課題	引き続き、学習者用端末やSNS等を使用する際のルールを確認したり、情報モラル教育をより推進していく。
担当課評価	達成	小中学校でのSNS等の利用に係るルールの策定が行われ、スマートフォン等の使い方に関する安全指導が実施されているため。

【指導課】

【施策目標Ⅰ 新しい時代に対応する資質・能力を育成する】  
 【施策方向4 新たな価値を創造する社会を生きるために必要となる力の育成】

N0.	I-4-(2)-①	
施 策	(2)新しい時代に対応できる資質・能力の育成	
取 組 名	①台東区総合学力調査	
取組の概要	区立小中学校の児童・生徒の基礎学力の定着状況を把握し、個々の児童・生徒に対する指導の充実を図るため、調査を実施する。なお、全国学力・学習状況調査と同時に実施することにより、小学校第4学年から中学校第3学年までの状況を総括的に分析する。また、幼稚園年長の保護者を加えて対象学年にアンケート調査を実施することで、学力と生活習慣の関係を分析し、学力向上につなげる。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	実施
	取 組 実 績	中止
	取 組 の 成 果	中止期間中に、アンケート調査の内容を精査することができた。
	取 組 の 課 題	全国学力・学習状況調査との関係を整理したり、学校の負担軽減に配慮したりする必要がある。
担当課評価	未達成	コロナの影響により実施ができなかったため。

【指導課】

N0.	I-4-(2)-②	
施 策	(2)新しい時代に対応できる資質・能力の育成	
取 組 名	②エビデンスに基づく教育研究	
取組の概要	区立幼稚園・こども園・小中学校において園児・児童・生徒の状況や保護者の意識の変容を客観的調査やアンケート調査により把握するとともに、教育活動の成果を検証し、課題解決に向けた研究と実践を推進する。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	教育研究 実施
	取 組 実 績	実施
	取 組 の 成 果	学校評価や実態調査アンケートを根拠に、教育課程の編成や校内研究が推進されており、エビデンスに基づく教育研究が進められている。
	取 組 の 課 題	一人1台端末や学校園情報共有ツール（スママチ）を活用して、より簡便・迅速にアンケート調査を行えるようにすることが課題である。
担当課評価	達成	各校園において、アンケート調査結果を根拠にした研究実践がなされているため。

【指導課】

【施策目標Ⅰ 新しい時代に対応する資質・能力を育成する】  
 【施策方向4 新たな価値を創造する社会を生きるために必要となる力の育成】

N0.	I-4-(2)-③	
施 策	(2)新しい時代に対応できる資質・能力の育成	
取 組 名	③教育機器の研究充実	
取組の概要	区立小中学校において、情報機器や各種教育機器等の幅広い活用法の研究を推進する。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	区立小中学校の機器活用研究を充実させる。
	取 組 実 績	各校において、情報機器の活用に関する研究を充実させることができた。
	取 組 の 成 果	各校では、教員用タブレット、電子黒板、実物投影機等の情報機器を授業で積極的に活用するとともに、校内研究にも活用することで、教員の資質・能力が向上している。
	取 組 の 課 題	情報機器の活用における好事例を集積及び共有し、効果的・効率的な授業の実施につなげていく必要がある。
担当課評価	達成	各校で情報機器の教育的利用の充実が図られているため。

【指導課】

【施策目標Ⅰ 新しい時代に対応する資質・能力を育成する】  
 【施策方向4 新たな価値を創造する社会を生きるために必要となる力の育成】

N0.	I-4-(3)-①	
施策	(3)新たな価値を創造するための教育の推進	
取組名	①English Summer School	
取組の概要	区立中学校の希望生徒を対象に夏休み期間を利用した英語体験学習プログラムを実施し、グローバル化に対応した生きた英語の習得や国際感覚、コミュニケーション能力を養う。	
3 年 度 取 組 評 価	目標 (取組内容)	全中学校で実施。
	取組実績	全中学校で実施。
	取組の成果	二日間、生きた英語に触れたことにより、英語力の向上や国際感覚の涵養を図ることができた。
	取組の課題	学校間での参加希望の生徒に差があり、取組の目的成果を周知していく必要がある。生徒の学力の実態や参加の様子等を踏まえて、プログラムの内容や方法をさらに改善する必要がある。
担当課評価	達成	全校で実施したため。

【指導課】

N0.	I-4-(3)-②	
施策	(3)新たな価値を創造するための教育の推進	
取組名	②TGGでミニ留学	
取組の概要	区立小学校第6学年児童を対象に、東京都の体験英語学習施設「TOKYO GLOBAL GATEWAY」で校外学習を実施し、生きた英語を使用する体験をすることで、国際感覚、コミュニケーション能力を養う。	
3 年 度 取 組 評 価	目標 (取組内容)	全小学校で実施。
	取組実績	19小学校中18小学校で実施。
	取組の成果	生きた英語を使用する体験をすることで、国際感覚、コミュニケーション能力を養うことができた。
	取組の課題	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、学級閉鎖等で急な中止となった学校の代替となる活動を検討する必要がある。
担当課評価	未達成	全小学校で実施することができなかつたため。

【指導課】

【施策目標Ⅰ 新しい時代に対応する資質・能力を育成する】  
 【施策方向4 新たな価値を創造する社会を生きるために必要となる力の育成】

N0.	I-4-(3)-③	
施 策	(3)新たな価値を創造するための教育の推進	
取 組 名	③中学生海外短期留学派遣	
取組の概要	夏季休業期間中に区立中学校第2学年生徒を海外(デンマーク グラズサックセ市)に短期留学させ、現地校における授業体験、施設視察、その他現地の生徒やその家族と生活・学習等の相互交流を通して、国際社会に貢献できる区民を育成する。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	実施
	取 組 実 績	休止
	取 組 の 成 果	なし
	取 組 の 課 題	新型コロナウイルス感染症の終息に伴う事業復活に向けて、実施上の課題を検討する必要がある。
担当課評価	未達成	コロナの影響により実施ができなかったため。

【指導課】

N0.	I-4-(3)-④	
施 策	(3)新たな価値を創造するための教育の推進	
取 組 名	④中学生の職業体験	
取組の概要	区立中学校第2学年生徒が地域の商店や企業、公共施設などの協力を受けて、職場におけるマナーや仕事の進め方の指導・実体験・ミーティング等からなる職業体験を5日間実施、生徒の望ましい勤労観・職業観を育成する。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	職業体験 実施 全中学校
	取 組 実 績	コロナ禍の影響により、4校が実地体験を実施した。 実地体験ができなかった学校においても、外部から講師を招いたり、職業に関するミーティングをしたりするなどの学習を実施した。
	取 組 の 成 果	生徒の望ましい勤労観・職業観を育成した。
	取 組 の 課 題	コロナの影響により、受入れ先を見つけるのも今後難しくなることが懸念される。実施形態の工夫が必要である。
担当課評価	達成	実地体験だけでなく、外部講師等の工夫をして全中学校が実施できたため。

【指導課】



【施策目標Ⅰ 新しい時代に対応する資質・能力を育成する】  
 【施策方向4 新たな価値を創造する社会を生きるために必要となる力の育成】

N0.	I-4-(3)-⑤	
施策	(3)新たな価値を創造するための教育の推進	
取組名	⑤企業と連携した中学生への職業講話	
取組の概要	区立中学校と地元企業等が連携して、働くことの意義や心構え等について学ぶ機会を職業体験の機会を通じて設け、働くことの意欲を高める。	
3年度取組評価	目標 (取組内容)	職業講話 実施 全中学校
	取組実績	全中学校で実施。
	取組の成果	地元企業等と連携して、働くことの意義や心構え等について学ぶ機会を設け、働くことの意欲を高めた。
	取組の課題	地域資源を大切に、今後も継続していく。
担当課評価	達成	全中学校で実施したため。

【指導課】

N0.	I-4-(3)-⑥	
施策	(3)新たな価値を創造するための教育の推進	
取組名	⑥オリンピック・パラリンピック教育の推進	
取組の概要	未来に夢を抱き、互いを尊重し合い、世界平和に貢献しようとする豊かな国際感覚を身に付けた幼児・児童・生徒を育てる「オリンピック・パラリンピック教育」を保育園、幼稚園、こども園、小中学校で推進し、特色ある教育活動を通して未来を拓く幼児・児童・生徒を育成する。	
3年度取組評価	目標 (取組内容)	実施 全保育園・幼稚園・こども園・小中学校 ※計画上では令和3年度の目標は設定されていなかったが、オリンピック・パラリンピックの開催が令和2年度から令和3年度に延期したため、令和2年度の目標を記載。
	取組実績	全保育園・幼稚園・こども園・小中学校にて実施。
	取組の成果	全学校園にて様々な教育活動を通じた「オリンピック・パラリンピック教育」を実施したことにより、幼児・児童・生徒の各種スポーツや国際理解に関する興味・関心が高まった。
	取組の課題	大会終了後もレガシーとして各学校の教育活動に引き継がれるようにする必要がある。
担当課評価	未達成	感染症対策等により、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会における学校連携観戦プログラム」を中止せざるをえなかったため。

【学務課、児童保育課、指導課】

【施策目標Ⅰ 新しい時代に対応する資質・能力を育成する】  
 【施策方向4 新たな価値を創造する社会を生きるために必要となる力の育成】

N0.	I-4-(3)	
施 策	(3)新たな価値を創造するための教育の推進	
取 組 名	小学校のオーケストラや金管バンドなどの活動の支援(再掲)	
取組の概要	東京都交響楽団の厚意により、「東京都交響楽団アーティスト交流」として金管楽器や打楽器等演奏者の専門家の派遣を希望する区立小学校に、オーケストラ等指導の補助指導員を配置する。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	実施
	取 組 実 績	コロナの影響により、実施できなかった。
	取 組 の 成 果	コロナの影響により、東京都交響楽団からの要請がなかったため実施しておらず、取組成果なし。
	取 組 の 課 題	来年度以降、取組の目的から見直し、改めて連携を検討する。
担当課評価	未達成	コロナの影響により実施できなかったため。

【指導課】

N0.	I-4-(3)	
施 策	(3)新たな価値を創造するための教育の推進	
取 組 名	東京藝術大学の学生等による音楽、部活動等への指導(再掲)	
取組の概要	区立中学校生徒を対象に、東京藝術大学、同大学院の学生及び卒業生による中学校音楽科授業及び部活動における指導を通して演奏技術の向上及び音楽に対する興味・関心を高める。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	東京藝術大学学生による指導 実施
	取 組 実 績	コロナの影響により、実施できなかった。
	取 組 の 成 果	コロナの影響により、藝大からの要請がなかったため実施しておらず、取組成果なし。
	取 組 の 課 題	来年度以降、取組の目的から見直し、改めて連携を検討する。
担当課評価	未達成	コロナの影響により実施できなかったため。

【学務課、児童保育課、指導課】



【施策目標Ⅰ 新しい時代に対応する資質・能力を育成する】  
 【施策方向4 新たな価値を創造する社会を生きるために必要となる力の育成】

N0.	I-4-(3)	
施 策	(3)新たな価値を創造するための教育の推進	
取 組 名	上野学園大学の学生等による音楽、課外活動等への指導(再掲)	
取組の概要	区立小中学校児童生徒を対象に、上野学園大学の学生による音楽科授業及び部活動における指導を通して演奏技術の向上及び音楽に対する興味・関心を高める。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	実施
	取 組 実 績	実施
	取 組 の 成 果	上野学園大学の学生による音楽科等授業における指導を通して音楽等に対する興味・関心を高められた。
	取 組 の 課 題	上野学園大学が令和3年度より学生募集停止を決めており、今後の学生確保が困難となる。
担当課評価	達成	実績があり、実績に見合う成果も見られるため。

【指導課】

【施策目標Ⅱ グローバルな社会で活躍する人材を育成する】  
 【施策方向5 こころざしを立て将来の夢や理想を実現する人材を育成する】

N0.	Ⅱ-5-(1)-①	
施 策	(1)こころざし教育の推進	
取 組 名	①こころざし教育の推進	
取組の概要	区立小中学校の児童・生徒が、「特別の教科 道徳」等の学習や中学校の立志式等の行事を通して、未来の日本を担うこころざしと意欲をもつことができるよう、こころざし教育を推進する。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	区立小中学校において、児童・生徒が自己の道徳的価値観を振り返り、自分の生き方について真剣に考えるための教育を推進する。
	取 組 実 績	区立全小中学校において実施する。
	取組の成果	コロナ禍の対応として、特に中学校における立志式でのICT活用が定着している。
	取組の課題	教育活動が制限される中であっても、児童・生徒が対話し心を交流させる場の確保に工夫する必要がある。
担当課評価	達成	区立全小中学校において実施されているため。

【指導課】

N0.	Ⅱ-5-(1)-②	
施 策	(1)こころざし教育の推進	
取 組 名	②こころざし教育副読本の活用	
取組の概要	こころざし教育を推進するため、先人の功績や言行等から編さんした児童・生徒用副読本「こころざし高く」を配付します。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	新入生等にこころざし教育副読本を配付する。
	取 組 実 績	新年度から「特別の教科 道徳」の授業、講話、読み聞かせ等で活用できるよう各小中学校に必要部数を配付した。
	取組の成果	副読本「改訂版 こころざし高く」を活用した学習活動について、各小中学校において実践を促した。
	取組の課題	こころざしをもつことの意義や大切さについて、資料を通して感じ取ることができるよう、児童・生徒の発達段階及び興味・関心に沿った資料を精選し、さらなる活用の促進につなげるとともに、こころざし教育の一層の推進を図る。
担当課評価	達成	小学1年生、4年生、中学1年生に副読本を配付した。

【教育支援館】

【施策目標Ⅱ グローバルな社会で活躍する人材を育成する】  
 【施策方向5 ころごしを立て将来の夢や理想を実現する人材を育成する】

NO.		Ⅱ-5-(1)-③	
施 策		(1)ころごし教育の推進	
取 組 名		③地域を学ぶ学習の充実	
取組の概要		教科等の授業において、区立小中学校の児童・生徒にとって身近な題材や事象を取り上げて考えさせるほか、地域を教材とした学習、地域を場とした学習を通して地域について理解を深めるとともに、地域に対して深い愛着をもてるようにする。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	区内めぐりなどの校外学習、生活科や社会科、総合的な学習の時間等において、地域を教材として取り上げ、地域学習を実施する。	
	取 組 実 績	コロナ禍のため、一時的に校外学習が実施できない時期があったが、社会情勢に応じて区内めぐり等を実施した。	
	取 組 の 成 果	地域教材を取り上げることで、児童の学習意欲が向上した。地域についての理解も深まり、地域に対してより深い愛着が生まれた。	
	取 組 の 課 題	学習内容を次年度にも引き継ぎ、コロナ対応も視野に入れながら工夫して充実させる必要がある。	
担当課評価		達成	計画に基づいて、学習の充実が図られているため。

【指導課】

NO.		Ⅱ-5-(1)	
施 策		(1)ころごし教育の推進	
取 組 名		中学生の職業体験(再掲)	
取組の概要		区立中学校第2学年生徒が地域の商店や企業、公共施設などの協力を受けて、職場におけるマナーや仕事の進め方の指導・実体験・ミーティング等からなる職業体験を5日間実施、生徒の望ましい勤労観・職業観を育成する。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	職業体験 実施 全中学校	
	取 組 実 績	コロナ禍の影響により、4校が実地体験を実施した。実地体験ができなかった学校においても、外部から講師を招いたり、職業に関するミーティングによる学習を実施したりした。	
	取 組 の 成 果	生徒の望ましい勤労観・職業観を育成できた。	
	取 組 の 課 題	コロナの影響により、受入れ先を見つけるのも今後難しくなることが懸念される。実施形態の工夫が必要である。	
担当課評価		達成	実地体験だけでなく、外部講師等の工夫をして全中学校で実施したため。

【指導課】

【施策目標Ⅱ グローバルな社会で活躍する人材を育成する】  
 【施策方向5 こころざしを立て将来の夢や理想を実現する人材を育成する】

N0.	Ⅱ-5-(2)	
施 策	(2)グローバルに活躍する人材の育成	
取 組 名	English Summer School (再掲)	
取組の概要	区立中学校の希望生徒を対象に夏休み期間を利用した英語体験学習プログラムを実施し、グローバル化に対応した生きた英語の習得や国際感覚、コミュニケーション能力を養う。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	全中学校で実施。
	取 組 実 績	全中学校で実施。
	取 組 の 成 果	二日間、生きた英語に触れたことにより、英語力の向上や国際感覚の涵養を図ることができた。
	取 組 の 課 題	学校間での参加希望の生徒に差があり、取組の目的成果を周知していく必要がある。生徒の学力の実態や参加の様子等を踏まえて、プログラムの内容や方法をさらに改善する必要がある。
担当課評価	達成	全校で実施したため。

【指導課】

N0.	Ⅱ-5-(2)	
施 策	(2)グローバルに活躍する人材の育成	
取 組 名	TGGでミニ留学 (再掲)	
取組の概要	区立小学校第6学年児童を対象に、東京都の体験英語学習施設「TOKYO GLOBAL GATEWAY」で校外学習を実施し、生きた英語を使用する体験をすることで、国際感覚、コミュニケーション能力を養う。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	全小学校で実施。
	取 組 実 績	19小学校中18小学校で実施。
	取 組 の 成 果	生きた英語を使用する体験をすることで、国際感覚、コミュニケーション能力を養うことができた。
	取 組 の 課 題	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、学級閉鎖等で急な中止となった学校の代替となる活動を検討する必要がある。
担当課評価	未達成	全小学校で実施することができなかったため。

【指導課】

【施策目標Ⅱ グローバルな社会で活躍する人材を育成する】  
 【施策方向5 ころごしを立て将来の夢や理想を実現する人材を育成する】

N0.	Ⅱ-5-(2)	
施 策	(2)グローバルに活躍する人材の育成	
取 組 名	中学生海外短期留学派遣(再掲)	
取組の概要	夏季休業期間中に区立中学校第2学年生徒を海外(デンマーク グラズサックセ市)に短期留学させ、現地校における授業体験、施設視察、その他現地の生徒やその家族と生活・学習等の相互交流を通して、国際社会に貢献できる区民を育成する。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	実施
	取 組 実 績	休止
	取 組 の 成 果	なし
	取 組 の 課 題	新型コロナウイルス感染症の収束に伴う事業復活に向けて、実施上の課題を検討する必要がある。
担当課評価	未達成	コロナの影響により実施ができなかったため。

【指導課】

N0.	Ⅱ-5-(2)-④	
施 策	(2)グローバルに活躍する人材の育成	
取 組 名	④中学校英語発表会	
取組の概要	区立中学校における英語学習の成果を相互に発表し合い、英語習得の向上を図るとともに、各中学校間の生徒交流を図り、英語学習に対する意欲を高める。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	参加者数90名
	取 組 実 績	中止
	取 組 の 成 果	なし
	取 組 の 課 題	オンライン等も含めて、新型コロナウイルス感染症対策を確実にいながら実施できる方法を検討する必要がある。
担当課評価	未達成	コロナの影響により実施ができなかったため。

【指導課】

【施策目標Ⅱ グローバルな社会で活躍する人材を育成する】  
 【施策方向5 ころざしを立て将来の夢や理想を実現する人材を育成する】

N0.	Ⅱ-5-(2)-⑤	
施 策	(2)グローバルに活躍する人材の育成	
取 組 名	⑤小学校英語活動の充実	
取組の概要	グローバル化に対応した生きた英語の習得や国際感覚、コミュニケーション能力を養うため、担任による指導だけではなく、外国語指導助手を区立全小学校に派遣し、英語教育活動の充実を図る。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	全小学校に指導助手を派遣。
	取 組 実 績	全小学校に指導助手を派遣。
	取 組 の 成 果	全小学校に指導助手を派遣したことで、児童が生きた英語に触れたり、国際感覚やコミュニケーション能力を養ったりすることができた。
	取 組 の 課 題	令和2年度より実施されている小学校高学年における外国語の指導力向上を図る取組を行う必要がある。
担当課評価	達成	全小学校に指導助手を派遣し、指導が充実したため。

【指導課】

N0.	Ⅱ-5-(2)-⑥	
施 策	(2)グローバルに活躍する人材の育成	
取 組 名	⑥中学校への外国人英語指導助手の派遣	
取組の概要	区立全中学校に外国語指導助手を派遣し、授業の中で英会話・発音などの指導を行う。また、外国語の生活習慣や文化を知ることにより、生徒の国際理解や英語への興味・関心を高める。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	全中学校に指導助手を派遣。
	取 組 実 績	全中学校に指導助手を派遣。
	取 組 の 成 果	全中学校に指導助手を派遣し、授業の中で指導を行ったことで、生徒の国際理解や英語への興味・関心を高めることができた。
	取 組 の 課 題	授業者と指導助手の効果的な連携や指導のあり方について、校内での検討や学校間の情報共有を行う必要がある。
担当課評価	達成	全中学校に指導助手を派遣し、指導が充実したため。

【指導課】



【施策目標Ⅱ グローバルな社会で活躍する人材を育成する】  
【施策方向6 社会的・職業的自立に向けた能力・態度の育成】

N0.	Ⅱ-6-(1)-①	
施 策	(1)自己の生き方や働き方を考える教育の推進	
取 組 名	①「連携の日」を通じた主体的な中学校選択	
取 組 の 概 要	「連携の日」の取組みの一環として、土曜日に区立全中学校が学校公開をし、区立全小学校を休みとすることにより、小学生が中学校を参観する機会を設定する。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	小学校の1中学校あたり平均参加数 110人
	取 組 実 績	0人 新一年生保護者説明会は、感染症対策を十分に講じたうえで実施は可とした。しかし、来校者は保護者1名に限り、児童の参加は不可とした。
	取 組 の 成 果	来校した保護者に、学校の説明は行えた。動画を配信するなどして、各校が学校の説明は行えた。しかし小学生が参観する機会とはならなかった。
	取 組 の 課 題	新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、参観する機会が得られなかったり、得られなかったりする。安定した実施方法の確保。
担当課評価	未達成	小学生が中学校を参観する機会を設定することができなかったため。

【指導課】

N0.	Ⅱ-6-(1)-②	
施 策	(1)自己の生き方や働き方を考える教育の推進	
取 組 名	②進路指導・キャリア教育の充実	
取 組 の 概 要	区立中学校進路指導主任を対象に研修会を実施し、進路指導やキャリア教育に関する最新の情報や知識を身に付けさせる。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	研修会 2回実施
	取 組 実 績	働き方改革の一環として、研修計画の見直しを図ったため、年1回の実施にとどまった。
	取 組 の 成 果	小中学校の進路指導担当教員等を対象として実施したことで、児童・生徒一人一人のキャリア発達を支援し、実態に応じたキャリア教育を推進することができた。
	取 組 の 課 題	今後もキャリア教育を充実させ、一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促していく必要がある。
担当課評価	未達成	働き方改革の一環として、研修計画の見直しを図ったため、実施回数が当初の目標値に届かなかった。

【指導課】



【施策目標Ⅱ グローバルな社会で活躍する人材を育成する】  
【施策方向6 社会的・職業的自立に向けた能力・態度の育成】

N0.	Ⅱ-6-(1)-③	
施 策	(1)自己の生き方や働き方を考える教育の推進	
取 組 名	③乳幼児と触れ合う機会の充実	
取組の概要	区立中学校の生徒が乳幼児と触れ合うことにより、幼児と幼児の遊びの意義への理解を深め、子供が育つ環境としての家族と家庭の役割に気づくとともに、家庭生活をより良くしようとする能力と態度を育てる。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	保育体験や職業体験学習 実施
	取 組 実 績	コロナ禍のため、実施できなかったため、家庭科の授業等で保育に関する学習を実施。
	取 組 の 成 果	座学での学習では乳幼児とのふれあいで育つ能力と態度の育成には至らなかった。
	取 組 の 課 題	コロナ禍が終息しないと、園の受入れが難しい。
担当課評価	未達成	保育園、幼稚園等への職業体験が実施されていないため。

【指導課】

N0.	Ⅱ-6-(1)	
施 策	(1)自己の生き方や働き方を考える教育の推進	
取 組 名	ボランティア活動の推進(再掲)	
取組の概要	区立小中学校の児童・生徒が学校・地域・社会に奉仕するために、児童会・生徒会等が中心となって、地域・社会への奉仕活動を企画・運営したり、自発的に参加したりする活動を推進する。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	ボランティア活動 全小中学校
	取 組 実 績	全小中学校で実施。
	取 組 の 成 果	各小中学校において、児童会や生徒会が中心となって、清掃活動や挨拶運動などを実施している。
	取 組 の 課 題	児童・生徒の主体性をより引き出すための効果的な支援が必要である。
担当課評価	達成	全小中学校においてボランティア活動が実施されているため。

【指導課】

【施策目標Ⅱ グローバルな社会で活躍する人材を育成する】  
 【施策方向6 社会的・職業的自立に向けた能力・態度の育成】

N0.	Ⅱ-6-(1)	
施 策	(1)自己の生き方や働き方を考える教育の推進	
取 組 名	こころざし教育の推進(再掲)	
取組の概要	区立小中学校の児童・生徒が、「特別の教科 道徳」等の学習や中学校の立志式等の行事を通して、未来の日本を担うこころざしと意欲をもつことができるよう、こころざし教育を推進する。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	区立小中学校の児童・生徒が、「特別の教科 道徳」等の学習や中学校の立志式等の行事を通して、未来の日本を担うこころざしと意欲をもつことができるよう、こころざし教育を推進する。
	取 組 実 績	区立小中学校において、児童・生徒が自己の道徳的価値観を振り返り、自分の生き方について真剣に考えるための教育を推進する。
	取組の成果	区立全小中学校において実施する。
	取組の課題	コロナ禍の対応として、特に中学校における立志式でのICT活用が定着している。
担当課評価	達成	教育活動が制限される中であっても、児童・生徒が対話し心を交流させる場の確保に工夫する必要がある。

【指導課】

【施策目標Ⅱ グローバルな社会で活躍する人材を育成する】  
【施策方向6 社会的・職業的自立に向けた能力・態度の育成】

NO.		Ⅱ-6-(2)	
施 策		(2)勤労観・職業観の育成とキャリア形成	
取 組 名		中学生の職業体験(再掲)	
取組の概要		区立中学校第2学年生徒が地域の商店や企業、公共施設などの協力を受けて、職場におけるマナーや仕事の進め方の指導・実体験・ミーティング等からなる職業体験を5日間実施、生徒の望ましい勤労観・職業観を育成する。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	職場体験 実施 全中学校	
	取 組 実 績	コロナ禍の影響により、4校が実地体験を実施した。 実地体験ができなかった学校においても、外部から講師を招いたり、職業に関するミーティング学習を実施したりした。	
	取組の成果	生徒の望ましい勤労観・職業観を育成することができた。	
	取組の課題	コロナの影響により、受入れ先を見つけるのも今後難しくなることが懸念される。実施形態の工夫が必要である。	
担当課評価		達成	実地体験だけでなく、外部講師等の工夫をして全中学校で実施できたため。

【指導課】

NO.		Ⅱ-6-(2)	
施 策		(2)勤労観・職業観の育成とキャリア形成	
取 組 名		企業と連携した中学生への職業講話(再掲)	
取組の概要		区立中学校と地元企業等が連携して、働くことの意義や心構え等について学ぶ機会を職業体験の機会を通じて設け、働くことの意欲を高める。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	職業講話 実施 全中学校	
	取 組 実 績	全中学校で実施。	
	取組の成果	地元企業等と連携して、働くことの意義や心構え等について学ぶ機会を設け、働くことの意欲を高めた。	
	取組の課題	地域資源を大切に、今後も継続していく。	
担当課評価		達成	全中学校で実施したため。

【指導課】

【施策目標Ⅱ グローバルな社会で活躍する人材を育成する】  
【施策方向7 江戸で培った歴史や伝統を受け継ぐ豊かな感性の醸成】

NO.		Ⅱ-7-(1)	
施 策		(1)文化・芸術を豊かに感じる心の醸成	
取 組 名		小学校演劇鑑賞教室(能・狂言の鑑賞)(再掲)	
取組の概要		区立小学校6年生を対象に浅草公会堂において、年1回、日本の文化的な伝統芸能(能・狂言)を鑑賞する機会を設け、日本の伝統文化に対する理解を深める。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	小学校演劇鑑賞教室 各校年1回	
	取 組 実 績	小学校演劇鑑賞教室 各校年1回(DVD配布による)	
	取組の成果	能や狂言を鑑賞する機会を通して、日本の伝統文化に対する理解と愛着を深めている。	
	取組の課題	事前・事後指導を各校の実態に合わせて充実させることが重要である。	
担当課評価		達成	小学校演劇鑑賞教室を各校年1回実施しているため。

【指導課】

NO.		Ⅱ-7-(1)-②	
施 策		(1)文化・芸術を豊かに感じる心の醸成	
取 組 名		②小中学校連合作品展	
取組の概要		区立小中学校に通う児童・生徒による図画工作・美術・家庭・技術・書写などの作品を、東京都美術館等に展示し鑑賞する機会を設け、表現力、創造力の向上及び情操教育の充実を目指す。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	作品展参加 全小中学校	
	取 組 実 績	全小中学校が作品展に参加。	
	取組の成果	コロナ禍により、東京都美術館での開催ができなかったため、代替として学習系端末のPrimeDriveを活用した鑑賞会を実施する等、新しい形で各校の代表作品を鑑賞することができた。	
	取組の課題	オンライン開催より、やはり現地でリアルな作品を鑑賞する方が、表現力や創造力の向上、情操教育につながりやすいと感じるため、今回は特例の措置であったが、来年度は改めて東京都美術館での開催を目指す。	
担当課評価		達成	代替ではあったが、区内の全小中学校で、作品鑑賞会に出品するとともに、鑑賞を行うことができたため。

【指導課】

【施策目標Ⅱ グローバルな社会で活躍する人材を育成する】  
【施策方向7 江戸で培った歴史や伝統を受け継ぐ豊かな感性の醸成】

NO.	Ⅱ-7-(1)	
施 策	(1)文化・芸術を豊かに感じる心の醸成	
取 組 名	学びのキャンパスプランニング(再掲)	
取組の概要	区内の博物館・美術館などの文化施設や、台東区にゆかりのある企業・団体・学識経験者、江戸の伝統文化について講義する講師などと連携して、「台東区学校教育ビジョン」の実現に向けたプランを作成する。学校園では自校園に合ったプランを選択し、実施する。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	下記のとおりプログラム(プラン)を設ける。 年130
	取 組 実 績	下記のとおりプログラム(プラン)を設け、実施した。 プログラム(プラン)数 年129 プログラム(プラン)実施数 年143
	取組の成果	「台東区立学校園版感染症予防ガイドライン」を遵守しながら事業を実施したことで、台東区の歴史や文化伝統に誇りをもち、地域を愛し、自ら行動できる『ひとつづくり』を実現した。
	取組の課題	感染症の拡大等、社会情勢の変化により事業が中止となる可能性があり、実施方法や内容の見直しによって安定的な事業運営を図る必要がある。
担当課評価	未達成	年間を通して継続的に事業実施に取り組むことはできたものの、事業者から提供されるプランの数に関しては、コロナの影響で計画の目標値に及ばなかったため。

【指導課】

NO.	Ⅱ-7-(1)	
施 策	(1)文化・芸術を豊かに感じる心の醸成	
取 組 名	東京藝術大学の学生等による音楽、部活動等への指導(再掲)	
取組の概要	区立中学校生徒を対象に、東京藝術大学、同大学院の学生及び卒業生による中学校音楽科授業及び部活動における指導を通して演奏技術の向上及び音楽に対する興味・関心を高める。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	東京藝術大学学生による指導 実施
	取 組 実 績	コロナの影響により、実施できなかった。
	取組の成果	コロナの影響により、実施できなかった。
	取組の課題	来年度以降、改めて連携を図る。
担当課評価	未達成	コロナの影響により実施できなかったため。

【指導課】

【施策目標Ⅱ グローバルな社会で活躍する人材を育成する】  
 【施策方向7 江戸で培った歴史や伝統を受け継ぐ豊かな感性の醸成】

NO.	Ⅱ-7-(1)	
施 策	(1)文化・芸術を豊かに感じる心の醸成	
取 組 名	上野学園大学の学生等による音楽、課外活動等への指導(再掲)	
取組の概要	区立小中学校児童生徒を対象に、上野学園大学の学生による音楽科授業及び部活動における指導を通して演奏技術の向上及び音楽に対する興味・関心を高める。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	実施
	取 組 実 績	実施
	取 組 の 成 果	上野学園大学の学生による音楽科等授業における指導を通して音楽等に対する興味・関心を高められた。
	取 組 の 課 題	上野学園大学が令和3年度より学生募集停止を決めており、今後の学生確保が困難となる。
担当課評価	達成	実績があり、実績に見合う成果も見られるため。

【指導課】



【施策目標Ⅱ グローバルな社会で活躍する人材を育成する】  
【施策方向7 江戸で培った歴史や伝統を受け継ぐ豊かな感性の醸成】

NO.	Ⅱ-7-(2)-①	
施策	(2)郷土の歴史・伝統に対する理解の促進	
取組名	1 郷土資料の収集・保存・活用	
取組の概要	台東区の郷土資料の収集・保存に努めるとともに、郷土の歴史や地誌を紹介する企画展や講座を開催する。また、収集した貴重資料については、データベースとして公開し画像データを提供する。	
3 年度 取組 評価	目標 (取組内容)	郷土資料の収集・整理・保全に努めるとともに充実を図り、区民の郷土史学習への支援を実施する。
	取組実績	郷土資料や歴史・文化に関連する資料を収集した。企画展示を4回開催し、併せて展示解説や関連企画を実施した。また、貴重資料データベースをリニューアルした。
	取組の成果	貴重資料データベースをリニューアルすることで、公開画像を増やすとともに、高精細画像での検索を可能としたほか、写真を除く画像データは、サイトから自由にダウンロードできるようにし、活用の機会を増やすことができた。
	取組の課題	様々な学習意欲に応えるため、引き続き資料の収集・整理・保存に努めていく必要がある。貴重資料に関しても引き続きデジタル化を進め、オンラインによる活用を図っていく。
担当課評価	<b>達成</b>	区民が歴史・文化に親しむ場を提供することができた。

【中央図書館】

NO.	Ⅱ-7-(2)-②	
施策	(2)郷土の歴史・伝統に対する理解の促進	
取組名	②社会科副読本の配布	
取組の概要	台東区の産業・観光への理解と伝統・文化に対する愛着や誇りを育む授業を充実するため、区立小学校第3学年を対象に、社会科副読本を作成し配布する。	
3 年度 取組 評価	目標 (取組内容)	実施
	取組実績	実施
	取組の成果	台東区に特化した内容を掲載した副読本を配布し、教科用図書と共に活用することで、より主体的な学習を推進することができている。
	取組の課題	副読本改訂に係る作成委員の負担が大きい。
担当課評価	<b>達成</b>	対象児童に確実に配布しているため。

【指導課】



【施策目標Ⅱ グローバルな社会で活躍する人材を育成する】  
【施策方向7 江戸で培った歴史や伝統を受け継ぐ豊かな感性の醸成】

N0.	Ⅱ-7-(2)-③	
施 策	(2)郷土の歴史・伝統に対する理解の促進	
取 組 名	③伝統・文化、歴史、美意識、礼節などの継承と発展	
取組の概要	区立幼稚園・こども園・小学校・中学校の園児・児童・生徒が、発達段階に応じて台東区の伝統・文化、歴史に関する知識を深めるとともに、美意識、礼節について学ぶ教育活動を推進する。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	情操教育実施
	取 組 実 績	各学校園で、茶道や華道など実施したり、区内のコンサート会場、美術館や博物館を訪問したりして情操教育を実施した。
	取 組 の 成 果	台東区の伝統・文化、歴史に関する知識を深めるとともに、美意識、礼節について学ぶ機会を設けることができた。
	取 組 の 課 題	取組が単発にならないよう、取組を教育課程の何のどこに位置付けるか各校の意識と工夫が必要である。
担当課評価	達成	台東区の環境を生かして推進ができたため。

【児童保育課、指導課】

N0.	Ⅱ-7-(2)-④	
施 策	(2)郷土の歴史・伝統に対する理解の促進	
取 組 名	④台東区子供歴史・文化検定	
取組の概要	「台東区歴史・文化テキスト」を作成・配付し、子供たちに台東区の歴史・文化の伝承を図るとともに、郷土を愛する心を育む。 また、テキストの内容に対する理解を深めるきっかけとするため、「台東区子供歴史・文化検定」を実施する。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	区立小学校5年生に歴史・文化テキストを配布する。 歴史・文化検定を年1回実施する。
	取 組 実 績	区立小学校5年生を対象に「台東区歴史・文化テキスト」を配布。 8月～9月にかけて「台東区子供歴史・文化検定」を実施。 ・テキスト配布数 1,750冊 ・歴史・文化検定実施回数 1回 ・受検者数 2,462名
	取 組 の 成 果	台東区の歴史・文化について関心を持たせ、学習する機会を提供できた。
	取 組 の 課 題	配布している歴史・文化テキストの重量が重いため、可能な範囲で軽量化を図る必要がある。
担当課評価	達成	台東区の歴史・文化に対する理解を深め、郷土を愛する心を育むために、引き続き「学校受検」未実施校に対し、受検勧奨を働きかけていく。

【生涯学習課】

【施策目標Ⅱ グローバルな社会で活躍する人材を育成する】  
【施策方向7 江戸で培った歴史や伝統を受け継ぐ豊かな感性の醸成】

N0.	Ⅱ-7-(3)-①	
施 策	(3)地元の文化・芸術に触れ愛着と誇りを育む教育の推進	
取 組 名	①多様な主体の参画による学習展開	
取組の概要	教育的価値のある優れた知識や技術を有する地域の人材を、各区立学校園に参画させることにより、人と人の絆、地域と学校園の絆を深めるとともに充実した教育活動にする。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	外部人材活用の実施。
	取 組 実 績	幼稚園や小学校低学年においては昔遊びなど、小中学校においては、総合的な学習の時間などのゲストティーチャーなどに地域の人材を活用し、取り組んでいる。
	取組の成果	地域の人材が、各区立学校園に参画することにより、学校園と地域の連携を深めることにつながっている。
	取組の課題	継続的かつ安定的に事業を継続する必要がある。一方で、活動がマンネリ化しないように常に新しい人材確保も必要である。
担当課評価	達成	外部人材の活用によって、各区立学校園と地域が連携して学校教育を推進することにつながっているため。

【指導課】

N0.	Ⅱ-7-(3)-②	
施 策	(3)地元の文化・芸術に触れ愛着と誇りを育む教育の推進	
取 組 名	②AVライブラリーの充実	
取組の概要	利用者ニーズに応えつつ、趣味や実用など区民の暮らしに役立つ資料や生涯学習を支援する記録的・教育的に価値の高い資料を収集・提供する。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	視聴覚資料の収集・提供を実施。
	取 組 実 績	図書館取組方針や資料収集計画に基づき、適切に資料を収集した。
	取組の成果	台東区関連資料や生涯学習に資する資料などの収集・提供を行うとともに、ニーズが減少しているビデオ資料の蔵書見直しを行った。
	取組の課題	インターネットやアプリ等を通して、手軽に音楽や映像が取得可能になるなど、社会情勢は変化しており、ニーズを踏まえながら蔵書内容を検討していく必要がある。
担当課評価	達成	資料の収集を進めるとともに、ニーズや時勢を踏まえて蔵書の見直しを行うことができた。

【中央図書館】

【施策目標Ⅱ グローバルな社会で活躍する人材を育成する】  
【施策方向7 江戸で培った歴史や伝統を受け継ぐ豊かな感性の醸成】

N0.	Ⅱ-7-(3)-③	
施 策	(3)地元の文化・芸術に触れ愛着と誇りを育む教育の推進	
取 組 名	③台東区の民話と伝承遊びの普及	
取組の概要	教育委員会が委嘱した民話と伝承遊びの普及委員が区立幼稚園・保育園・こども園・小学校を訪問し、区内に伝わる民話や伝説、伝承遊びを子供たちに伝えることで、生まれ育った郷土をよく知り、愛する心を育成する。また、普及活動の充実を図るため、地域普及委員養成講座を実施する。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	全区立学校園で普及活動を実施し、生まれ育った郷土をよく知り、愛する心を育成する。また、養成講座を実施し普及活動の充実を図る。
	取 組 実 績	普及活動及び養成講座は、新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、実施することができた。
	取 組 の 成 果	子供たちにとって民話や伝承遊びを知る機会となっており、高い興味と関心が得られている。
	取 組 の 課 題	普及活動に携わる人数が限られており、公立園及び小学校しか対応できていない。また普及委員も高齢化しており、新たな委員を増やす必要がある。
担当課評価	達成	区内に伝わる民話や伝承遊びについて知る機会を提供し、生まれ育った郷土を愛する心の育成に寄与している。また、新型コロナウイルス感染症の中でも普及活動や養成講座を実施することができたため。

【生涯学習課】

【施策目標Ⅱ グローバルな社会で活躍する人材を育成する】

【施策方向8 社会の発展に貢献する意欲と責任感の育成】

N0.	Ⅱ-8-(1)-①	
施 策	(1)社会に参画しようとする意欲や態度の育成	
取 組 名	①租税教育の推進	
取組の概要	区立中学校の生徒の租税教育について、指導のねらい、内容、指導形態を体系化し、租税教室・税に関する作文等の取組を活用する。また、税に関連する授業を充実させ、義務教育最終段階における生徒の社会参画意識を向上させる。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	租税教育 実施
	取 組 実 績	全区立中学校で税に関する作文等の租税教育を実施。
	取 組 の 成 果	様々な形態の学習を通し、生徒の社会参画意識が向上した。
	取 組 の 課 題	学校と関係機関と連携を取りながら充実させていくことが重要である。
担当課評価	達成	全校で租税教育を実施し、生徒の社会参画意識が向上したため。

【指導課】

N0.	Ⅱ-8-(1)	
施 策	(1)社会に参画しようとする意欲や態度の育成	
取 組 名	情報モラル教育の推進(再掲)	
取組の概要	区立小中学校の児童・生徒が、情報社会での行動に責任をもち、情報を見極めるとともに正しく安全に利用する判断力を身に付ける。また、コンピュータなどの情報機器、スマートフォンを適切に使用することができるように、様々な教育活動を通して指導するとともに、家庭や地域との連携を図る。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	情報モラル教育 推進 全小中学校
	取 組 実 績	全小中学校で推進。
	取 組 の 成 果	「SNS学校ルール」の見直しや学習者用端末を使用する際のルールを確認したり、パスワードは他者に知られることのないように情報モラル教育を推進した。また「台東区立学校版SNS・インターネット活用ルール」及び保護者向けリーフレットの配布について児童・生徒及び各家庭への啓発を行った。
	取 組 の 課 題	引き続き、学習者用端末やSNS等を使用する際のルールを確認したり、情報モラル教育をより推進していく。
担当課評価	達成	小中学校でのSNS等の利用に係るルールの策定が行われ、スマートフォン等の使い方に関する安全指導が実施されているため。

【指導課】

【施策目標Ⅱ グローバルな社会で活躍する人材を育成する】

【施策方向8 社会の発展に貢献する意欲と責任感の育成】

NO.	Ⅱ-8-(1)-③	
施 策	(1)社会に参画しようとする意欲や態度の育成	
取 組 名	③主権者教育の推進	
取組の概要	選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたことを受け、区立小中学校の児童・生徒に対し、参政権や政治に関する教育を推進し、児童・生徒の社会参画意識を向上させる。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	主権者教育 推進 全小中学校
	取 組 実 績	全区立小中学校で授業の一環として主権者教育を実施。
	取 組 の 成 果	参政権や政治に関する学習や生徒会役員選挙等を通し、児童・生徒の社会参画意識を向上させることができた。
	取 組 の 課 題	ゲストティーチャーの活用などにより参画意識が深まる学習形態の工夫をしていくことも必要である。
担当課評価	達成	児童・生徒の社会参画意識を向上させることができたため。

【指導課】

NO.	Ⅱ-8-(1)	
施 策	(1)社会に参画しようとする意欲や態度の育成	
取 組 名	福祉体験・奉仕活動体験の推進(再掲)	
取組の概要	区立小中学校において、人権課題「高齢者」「障害者」に関する児童・生徒の知的理解を深め、人権感覚の高揚を図るとともに、他者や地域のための奉仕活動体験を通して、社会貢献の精神を育成し、社会に貢献しようとする意欲を高める。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	全小中学校(実施)
	取 組 実 績	全小中学校(実施)
	取 組 の 成 果	総合的な学習の時間において、人権課題についての理解を深めさせるだけでなく、地域との交流活動等に取り組んでいる。
	取 組 の 課 題	新型コロナウイルス感染症感染拡大により、直接交流が困難である場合がある。
担当課評価	達成	オンライン交流等、新たな交流の形式も取り入れて実施することができたため。

【指導課】



【施策目標Ⅱ グローバルな社会で活躍する人材を育成する】

【施策方向8 社会の発展に貢献する意欲と責任感の育成】

N0.	Ⅱ-8-(1)-⑦	
施 策	(1)社会に参画しようとする意欲や態度の育成	
取 組 名	⑦清掃施設体験学習	
取組の概要	区立小学校第4学年が清掃施設・ごみ処理施設等で校外学習を行い、ごみ処理の過程を学ぶとともに、資源の有限性とリサイクル活動などの環境問題への関心を高める。また、家庭・地域・社会の環境保全に向けて、自ら進んで実践できる児童を育成する。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	実施
	取 組 実 績	中止
	取組の成果	なし
	取組の課題	新型コロナウイルス感染症が拡大している状況においても、ごみ処理の過程を学んだり、環境問題への関心を高めたりすることができるように、清掃施設・ごみ処理施設等での校外学習以外の方法を検討する必要がある。
担当課評価	未達成	コロナの影響により実施ができなかったため。

【指導課】

N0.	Ⅱ-8-(1)-⑧	
施 策	(1)社会に参画しようとする意欲や態度の育成	
取 組 名	⑧区立小中学校における清掃・美化・リサイクル活動	
取組の概要	区立小中学校において、地域における清掃・美化・リサイクル活動への参加等の体験や実践による教育活動を通じ、環境に対する意識の向上と実践力の育成を図る。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	実施
	取 組 実 績	実施
	取組の成果	児童会・生徒会を中心とした清掃・美化・リサイクル活動への参加等の体験や実践を行ったことで、児童・生徒の環境に対する意識が向上した。
	取組の課題	清掃・美化・リサイクル活動への参加は一部の児童・生徒に留まっており、参加人数を増やしていく必要がある。
担当課評価	達成	事業が実施できたため。

【指導課】

【施策目標Ⅱ グローバルな社会で活躍する人材を育成する】  
 【施策方向8 社会の発展に貢献する意欲と責任感の育成】

N0.	Ⅱ-8-(2)	
施 策	(2)まちや社会の期待に応える人材の養成	
取 組 名	ボランティア活動の推進(再掲)	
取 組 の 概 要	区立小中学校の児童・生徒が学校・地域・社会に奉仕するために、児童会・生徒会等が中心となって、地域・社会への奉仕活動を企画・運営したり、自発的に参加したりする活動を推進する。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	ボランティア活動 全小中学校
	取 組 実 績	全小中学校で実施。
	取 組 の 成 果	各小中学校において、児童会や生徒会が中心となって、清掃活動や挨拶運動などを実施している。
	取 組 の 課 題	児童・生徒の主体性をより引き出すための効果的な支援が必要である。
担当課評価	達成	全小中学校においてボランティア活動が実施されているため。

【指導課】



【施策目標Ⅱ グローバルな社会で活躍する人材を育成する】

【施策方向8 社会の発展に貢献する意欲と責任感の育成】

NO.	Ⅱ-8-(3)-①	
施 策	(3)人と人との絆づくりの推進	
取 組 名	①地域との連携による学校、地域の安全の充実	
取組の概要	地域と連携した安全教育を実施することにより、学校が地域の防災拠点として機能していることを児童・生徒に理解させるとともに、地域の一員であるという自覚を促す。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	実施
	取 組 実 績	実施
	取 組 の 成 果	各校において工夫しながら安全教育を実施し、児童・生徒の理解の推進や地域の一員としての自覚を促すことができた。
	取 組 の 課 題	コロナ禍における地域との連携方法について見直す必要がある。
担当課評価	達成	各校ごとに工夫して実施。

【指導課】

NO.	Ⅱ-8-(3)-②	
施 策	(3)人と人との絆づくりの推進	
取 組 名	②いきいき台東っ子応援団	
取組の概要	保育園などの児童施設で、経験豊かなシニア世代が子どもたちに伝統や芸能、遊びなど様々な体験の機会を提供することで子どもの健やかな成長を図るとともに、地域のシニア世代と各施設の交流を促進します。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	目標 参加者数 3年度7,000人 取組内容 児童館 年5人団員派遣×8施設(延40人) その他 年8人団員派遣×5施設(延40人) 年7人団員派遣×11施設(延77人) 計157人
	取 組 実 績	参加者数82人(うち大人19人) 登録団員数24人 派遣回数2回(延2人)
	取 組 の 成 果	新型コロナウイルス感染症の影響により派遣回数が減少し、参加者数は目標に達しなかった。
	取 組 の 課 題	団員の高齢化や固定化による事業実施への影響や、児童の体験内容が固定化している課題がある。令和3年度は目標達成率が低かったが、新型コロナウイルス感染症のガイドラインに沿って、各団員の活動ペースに応じた範囲で事業を実施していく必要がある。
担当課評価	未達成	新型コロナウイルス感染症の影響前は実施率が高く、在園児だけでなく児童館等を利用する地域住民(未就園児親子)からも好評を博している。新型コロナウイルス感染症対策をしながらの事業実施となり、目標を達成できなかったため、目標値(参加者数)については見直しが必要である。

【児童保育課】

【施策目標Ⅱ グローバルな社会で活躍する人材を育成する】

【施策方向8 社会の発展に貢献する意欲と責任感の育成】

NO.	Ⅱ-8-(3)	
施 策	(3)人と人との絆づくりの推進	
取 組 名	中学生の職業体験(再掲)	
取組の概要	区立中学校第2学年生徒が地域の商店や企業、公共施設などの協力を受けて、職場におけるマナーや仕事の進め方の指導・実体験・ミーティング等からなる職業体験を5日間実施、生徒の望ましい勤労観・職業観を育成する。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	職場体験 実施 全中学校
	取 組 実 績	コロナ禍の影響により、4校が実地体験を実施した。 実地体験ができなかった学校においても、外部から講師を招いたり、職業に関するミーティング学習を実施したりした。
	取組の成果	生徒の望ましい勤労観・職業観を育成することができた。
	取組の課題	コロナの影響により、受入れ先を見つけるのも今後難しくなることが懸念される。実施形態の工夫が必要である。
担当課評価	達成	実地体験だけでなく、外部講師等の工夫をして全中学校が実施したため。

【指導課】

NO.	Ⅱ-8-(3)-④	
施 策	(3)人と人との絆づくりの推進	
取 組 名	④世代間交流・地域交流	
取組の概要	子供たちが高齢者と触れ合い、高齢者から学ぶことの大切さを知るため、区立学校園の園児及び児童が地域の高齢者施設を訪問するなど、各種行事を通じて交流を図る。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	実施
	取 組 実 績	実施
	取組の成果	直接交流だけではなく、リモートによる交流や手紙等による交流を実施することにより、子供たちが高齢者から様々なことを学んでいる。
	取組の課題	新型コロナウイルス感染症拡大により、直接交流が難しくなっている。
担当課評価	達成	各校が工夫して実施しているため。

【児童保育課、指導課】

【施策目標Ⅱ グローバルな社会で活躍する人材を育成する】

【施策方向8 社会の発展に貢献する意欲と責任感の育成】

N0.	Ⅱ-8-(3)-⑥	
施 策	(3)人と人との絆づくりの推進	
取 組 名	⑥学校安全ボランティア	
取組の概要	各区立小学校単位で、保護者と町会などの地域団体が協力してパトロールなどを行うことにより、登下校時の通学路における児童の安全を確保する。	
3 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	下記のとおり児童の安全確保のためのボランティアを確保する。 ボランティア登録者数 700人
	取 組 実 績	下記のとおり児童の安全確保のためのボランティアを確保。 ボランティア登録者数 542人
	取 組 の 成 果	各区立小学校単位で、ボランティア登録者が見守り活動に従事し、児童の安全を確保することができた。
	取 組 の 課 題	地域住民に向けて、取り組み内容の周知方法を工夫する必要がある。
担当課評価	未達成	当初目標としていたボランティア登録者数を越えなかったため。

【庶務課、指導課】

## 6 学識経験者による意見

### 【施策目標】I 新しい時代に対応する資質・能力を育成する

尾木 和英（東京女子体育大学名誉教授）

#### 【全般】

・予測困難な時代を生き抜き、新しい時代に対応する資質・能力を育成するという趣旨を根底に置き、事業の推進に取り組む基本姿勢が把握できた。新型コロナウイルスの影響など、厳しい条件のある中で、それぞれの施策の目標・重点を明確にした上で各担当課が取組の内容を点検評価し、施策の一層の充実を目指そうとしている。

・事業ごとに取組の目標を明確にし、根拠に基づいて的確な成果と課題の把握に努め、目標が達成されたかどうかを明らかにしている。その過程を通じて次年度の取組に対する見通しをつけ、台東区の実態に即して創意を生かして次年度の事業を展開しようとしている点を評価したい。

・目標未達成とされている事業に関しては、取組の内容、実施の方法、予期されない事態が生じた場合の対応等を中心に、未達成となった要因について十分に検討を加えることが必要である。

#### 【個別事業について】

・「I-1-(1)-①人権尊重教育推進校」に関しては、取組の成果として記されているように、区内小中学校への周知啓発を図るパイロット的な役割を担っている。それだけに、より効果的なものとなるように研究内容、研究の進め方について支援するとともに、その成果の生かし方について創意を生かすよう望みたい。

・「I-1-(2)-①いじめ相談カードの配布」に関しては、このカードを実効ある活用に結び付ける工夫が必要であることを指摘しておきたい。長い間の数々の努力にもかかわらず、引き続きいじめ問題への対応が重要な課題になっている。それだけに、この事業をいじめに関する取組の中に効果的に位置付けるよう検討を加えることが必要である。

・「I-1-(2)-③生活指導・健全育成指導の充実」に関しては、これが学校にとって、重要な、関係機関との連携の機会であることから、もう一度開催内容と開催方法について見直しを行うことを求めたい。学校における生活指導が学校外との情報共有や連携に乏しくなると、指導が従来の指導にとらわれ、形骸化の傾向を持ちがちになる。その意味で関係機関との情報交流や意見交換等によって、それまでの指導を見直すことが重要になる。取組の課題として、「学校園と専門家及び関係機関との連携をさらに充実させていくことが重要」とあるが、これをどのように具体化するか、努力を望みたい。

・「I-2-(2)-①言語活動を取り入れた授業の充実」に関しては、新学習指導要領の目指す深い学びにもかかわるため、重要な意味を持つ。各学校での授業の工夫に向けて、今後も創意を生かして働きかけをすることを望みたい。

## 【施策目標】Ⅱ グローバルな社会で活躍する人材を育成する

尾木 和英(東京女子体育大学名誉教授)

### 【全般】

・新たな社会的・経済的価値を生み出すこと、国際社会を牽引していくことのできる人材を視野に入れた、着実な事業展開を目指そうとする姿勢が把握できた。それぞれの事業がしっかりと目標をとらえてその趣旨を生かそうとしている。その基本姿勢を今後も大事にしていきたい。

・ここで評価したその基本姿勢、様々な努力にもかかわらず、かなりの事業が新型コロナウイルスの影響を受け、結果的には目標の未達成ということになった。こうした状況は今後も続くものと思われる。そこで求められるのが今後の事業展開に対する検討である。それぞれの事業には、そこに大きな意義が認められる。その意義を現実のものとするにはどのような事業の構成がありうるか。事業展開に工夫で何ができるか。次年度以降に向けて、検討を加えることを望みたい。

### 【個別事業について】

・「Ⅱ-5-(2)-④中学校英語発表会」に関しては、新型コロナウイルスの影響で成果が得られなかった。しかし、この事業には学習の交流、英語学習に対する意欲喚起といった意義があり、また、小学校の英語学習との交流といった発展の可能性もある。それだけに、今後に向けて、何か工夫の余地はないか、検討を加えることを望みたい。

・「Ⅱ-6-(1)-①「連携の日」を通じた主体的な中学校選択」に関しては、新型コロナウイルスの影響で目標が達成できなかった。しかし、令和3年度に関してはやむを得なかったことではあるが、今後に関しては改善の余地がないかどうか見直しを加えることを望みたい。

・「Ⅱ-6-(1)-⑥こころざし教育の推進」に関しては、しっかりと目標を達成していることを評価したい。また、「コロナ禍の対応として、特に中学校における立志式でのICT活用が定着している」という記述に着目したい。こうした工夫の積み重ねによって、新型コロナウイルスの影響の中での交流のヒントがあるかもしれないと考えるからである。各学校の取組の状況の把握を望みたい。

・「Ⅱ-7-(1)-④東京藝術大学の学生等による音楽、部活動等への指導」に関しても、新型コロナウイルスの影響を受けている。しかし、学校が大学等の学生の助力を得て教育活動を充実させることには様々な意味がある。今後については、こうした支障が生じた場合の工夫の在り方に検討を加えることを望みたい。また、「Ⅱ-7-(1)-⑤上野学園大学の学生等による音楽、課外活動等への指導」については取組の課題もあるということなので、少し範囲を広げて、様々な大学の力が借りられないか、打診することも考えられよう。学校教育活動の充実のための連携について多角的な検討を加えられることを望みたい。

・「Ⅱ-7-(2)-④台東区子供歴史・文化検定」が着実に実施されたことを評価する。台東区の歴史・文化に関心を持ち、台東区への愛着を深める関連事業の意義を改めて強調したい。

【施策目標】 I 新しい時代に対応する資質・能力を育成する

前田 烈（大智学園高等学校顧問）

【全般】

・あらためて、今日の社会状況を考えてみる。世界的なコロナ禍、政治、経済等々の争乱、多種多様な情報の氾濫等、それらは人々の意識や心情、行動に影響を及ぼしている。こうした状況は、政治・行政・教育機関の役割が一層重要になると考える。地域社会、家庭や学校等に耳目を注ぎ、事業等の今日的意義を再確認しつつ、適切に教育施策を構築することが肝要である。

・「新しい時代に対応する資質・能力の育成」では学校園での情報機器活用能力を高める教育を重視することは欠かせない。並行して、「豊かな心の育成」を重視して、知・情・技・体が調和した教育を推進してほしい。

・事業内容及び構成が視野広く、行き届いている。教育行政施策として、安定感を感じる。

【個別事業について】

・「I-4-(1)-③ICT教育環境を活かした教育の推進」に関しては、児童・生徒及び教員のために、いち早く教育機器を整備したことを評価したい。学校園や個々の教員によってICT教育に関わる意欲や力量は濃淡があると思われるが、今日では、全教員がもつべき普遍的な指導方法となっている。各学校の教員方の意欲向上に大いに期待している。

・「I-4-(1)-④情報モラル教育の推進」に関しては、青少年が巻き込まれている事件の多くが、情報機器の影響や悪用によるものであり、情報モラル教育が重要な根拠の一つである。学校での道徳教育や特別活動などの授業の他、あらゆる機会に児童・生徒に働きかけることが必要であり、何よりも、教員や保護者が意識を高め、スキルを高くすることが肝要である。指導内容の中核となる資料「SNS学校ルール」や「インターネット活用ルール」が既に出てきていることも高く評価したい。

・「I-4-(2)-②エビデンスに基づく教育研究」に関しては、指導課で実施しているこの事業は、客観性のある研究として期待できる。調査研究の結果を学校園に還元することで、教育課程の編成や幼児・児童・生徒への指導や対応に生かせる。

・「I-4-(2)-③教育機器の研究充実」に関しては、現在、全ての教員が情報機器を適切に活用して、授業等で指導する時代である。必然的に、適正で効果的な機器活用法の研修・研究が必要となろう。指導課が所管するこの事業は極めて重要である。是非、学校園の教員とも協同して、情報機器活用の研究を充実伸展させて欲しい。

【施策目標】Ⅱ グローバルな社会で活躍する人材を育成する

前田 烈（大智学園高等学校顧問）

【全般】

・グローバルな社会で信頼される資質を育てる前提・根幹には、ここに記されているように、育った地域の歴史、文化、伝統に誇りを持ち、地域を愛することが必要となる。それが根付いて、他の国や民族への理解や尊重が可能となろう。

・施設目標Ⅱの内容を大別すると「我が国及び住んでいる地域における伝統的な文化や精神の育成」と「グローバルな社会への意識や理解、行動力の育成」で構成しており、事業の狙いと内容が分かり易く設定されている。

【個別事業について】

・「Ⅱ-5-(1)-①こころざし教育の推進、②こころざし教育副読本の活用」に関しては、これらの事業は、台東区立小中学校で実施している個性的な学校行事と、それに関連した副読本の作成・配布事業である。道徳の時間や、学級活動の時間の指導とリンクして形骸化することなく、一層、質の高い事業にしてほしい。発達段階から考えると、中学生に最も身近なものとなろうが、地域の人々等の参加も工夫して、児童・生徒の発達段階に応じて実のある事業にしてほしい。

・「Ⅱ-5-(2)-①English Summer School」に関しては、区立中学生を対象とした、夏休みを活用した英語体験プログラムである。「営々と継続して効果を生み出す教育」がある一方、「短時間で個々の生徒の意識に点火して効果が生じる教育」がある。この事業は後者になろうが、参加する生徒の気持ちを揺さぶり、意欲を起こさせれば、回数は少なくても教育効果は大きなものとなる。参加生徒の意識を高めたり、学校に参加生徒の状況を報告して、学校と連携する等、事業の創意工夫を望みたい。

・「Ⅱ-6-(1)-②進路指導・キャリア教育の充実」に関しては、各学校園で教員全員の教育意識や指導力を上げるには、管理職はもちろんのこと、先ずは、教員のリーダーである校務分掌主任の意識と力量を上げることが肝要となる。主任の指導力に期待して、教員全体の教育力を上げるのである。「進路指導・キャリア教育」においても、進路指導主任のリードの下で、各学校で系統的・発展的に進路指導がなされることが望まれる。主任の意識と力量を育てるこの事業には大いに期待している。



## 【施策目標】 I 新しい時代に対応する資質・能力を育成する

有村 久春（東京聖栄大学教授）

### 【全般】

・施策目標 I は、全事業 124 の核心を成している。いわば台東区の子供個々の人間形成そのものを担っている。なかでも、施策の方向 1 から 3（「命・心」「学び」「身体」）はいわゆる「徳知体」であり、生きるエネルギーの資本である。この力動が、施策の方向 4 で示す、子供個々の「価値創造」の在り方を方向づけている。

・施策目標 I の 83 事業のうち、27 を「未達成」としている。いずれもその事業目的が「体験や演習」であることから、コロナ禍にあってやむを得ないと理解できる。

### 【個別事業について】

・「I-1-(1)人権教育の推進と(2)生命尊重の教育の推進」の事業が、その取組内容をほぼ達成できたことは、子供個々の人権と生命の尊重の精神の涵養に資している。特に「I-1-(1)-⑦福祉体験・奉仕活動体験の推進」は、個人人権課題を具体的に学び合う機会になっている。急速化する少子高齢化社会に向けた重要施策に値するため、今後も、各学校で総合的な学習や特別活動などの場で豊かな人権感覚を養いたい。

・「I-1-(2)-④スクールカウンセラーの派遣」は、いじめや不登校の予防策はもとより、子供と先生の学び合い（授業）と関連している。この実績が学力向上の基盤に資する。それゆえ、SC（スクールカウンセラー）同士の交流や教員研修の一環として SC（スクールカウンセラー）の知見に学ぶケース検討、授業研究の成果に期待したい。

・「I-1-(3)-④花の心プロジェクト」は、子供の情緒を育む台東区独自の施策である。取組の成果にある子供たちの「言葉・声」そのものが何よりの証左である。花にある一輪の美が子供の心の美を彩る。「美と粋のまち台東」に生きる子供たちに、確かな Well-being を獲得させたい。

・「I-2-(2)自ら学び考える教育の推進と I-4-(1)情報活用能力の育成」を連動・融合させる事業展開が求められる。新たな価値を創造し次代を自らリードする人材を育てたい。そこには多様な学びを止揚（アウフヘーベン）できるマインドが必要である。既存の事業企画からの発想の転換を図りたい。

## 【施策目標】Ⅱ グローバルな社会で活躍する人材を育成する

有村 久春（東京聖栄大学教授）

### 【全般】

・施策目標Ⅱの41事業のうち、16事業が施策目標Ⅰとのコラボレーション（再掲）である。ここに、Ⅰ・Ⅱ相互の目標達成の有機的関連性を理解できる。台東区教育委員会が次代を生きる子供たちの資質・能力と生き方のマップを統合的に描いているものと考えられる。それゆえ、施策目標Ⅰの評価記述でも述べたが、各担当部署間の評価チェックと課題検討が不可欠であることを確認したい。

41事業のうち、11の「未達成」もこのコロナ禍では致し方ない。この判断に至った担当課の無念さと腐心さを察する。それだけに、「達成」とした30の事業との関連を再吟味しながら、こころぎしの育成（施策の方向5）や職業的自立（同6）、感性の醸成（同7）、責任感の育成（同8）などの施策の展開やその意義などを改めて検討し、施策目標Ⅱの全体像を問いたい。この実効性が、事業評価のマンネリ化や前例主義を打破できると考える。

### 【個別事業について】

・「Ⅱ-5-(1)こころぎし教育の推進と(2)グローバルに活躍する人材の育成」の計10の各事業は、グローバル社会を生きる人材育成に有益かつ夢を育む内容である。この困難な事態にあって、子供個々が学習意欲を喚起し、また外部講師招聘によるミーティング学習を展開して「できる成果」を実感できたことを評価したい。特に「(2)-⑤小学校英語活動の充実と⑥中学校への外国人英語指導助手の派遣」では、全小中学校に指導助手(ALT)を派遣し、子供の英語力の向上と国際感覚を養うことができたことが意義深いと考える。

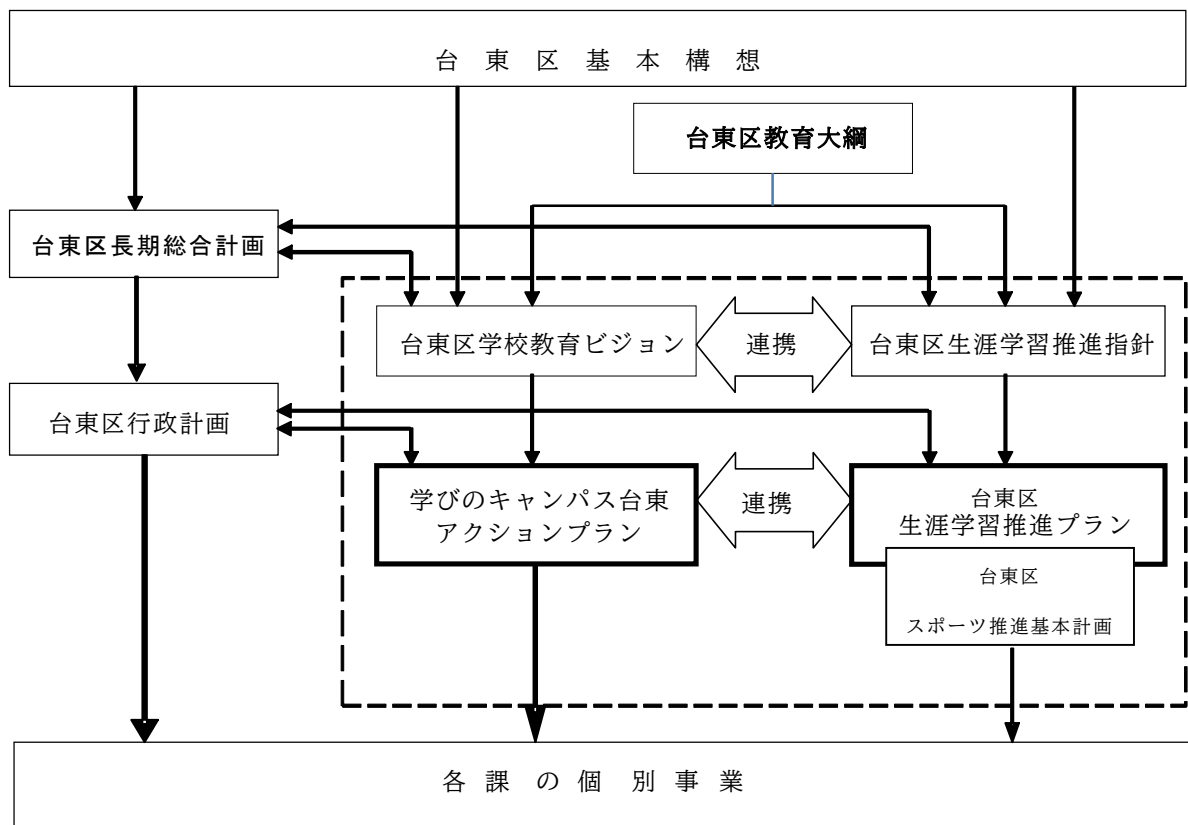
・「Ⅱ-6-(1)-①「連携の日」を通じた主体的な中学校選択、②進路指導・キャリア教育の充実、③乳幼児と触れ合う機会の充実」の推進が、実施に向けた関係者の努力に反して消化不良（未達成）であったことが残念である。しかし、動画配信や研修計画の見直しを図り、「達成」に向けた最善の模索を試みたことに敬意を表する。子供個々のキャリア形成に資している。この確かな事業運営が、次年度以降の展開をレベルアップさせる。

・「Ⅱ-7-(1)文化・芸術を豊かに感じる心の醸成、(2)郷土の歴史・伝統に対する理解の促進、(3)地元の文化・芸術に触れ愛着と誇りを育む教育の推進」の計12の各事業には、世界遺産を有する台東区の特性を活かした子供たちの学びがある。子供個々そして区民の感性が落ち込みがちなこの空気感のなかで、各学校や文化施設等が日々の事態変化を見極めながら、個々の文化度の向上に努めたことを評価したい。

・「Ⅱ-8-(1)社会に参画しようとする意欲や態度の育成、(2)まちや社会の期待に応える人材の養成、(3)人と人との絆づくりの推進」の計12の各事業は、区内の多くの子供が担うであろう国際社会で求められるエンゲージメント（社会参画）の力量とアイデンティティ形成に不可欠である。例えば、情報モラルの推進でパンフレットを配布する、人との絆づくりでリモート交流をする、清掃美化・リサイクル活動での参加者を増やす、などの取組が市民性の涵養に資している。

## 7 参考資料

### ○ 教育振興のための施策に関する基本的な計画一覧



※ [ ] は「教育振興のための施策に関する基本的な計画」

「台 東 区 学 校 教 育 ビ ジ ョ ン」、「台 東 区 生 涯 学 習 推 進 指 針」、「学 び の キ ャ ン パ ス 台 東 ア ク シ ョ ン プ ラ ン」、「台 東 区 生 涯 学 習 推 進 プ ラ ン(台 東 区 ス ポ ー ツ 振 興 基 本 計 画)」は、教 育 基 本 法 第 17 条 第 2 項 に 基 づ いて 策 定 す る、台 東 区 の「教 育 振 興 の た め の 施 策 に 関 す る 基 本 的 な 計 画」として 位 置 づ け ら れ て い ま す。

## 台東区教育大綱

台東区は、上野、浅草、谷中、隅田川など歴史と伝統に恵まれた地域を擁し、情緒ある個性豊かな文化を育んできたまちです。日々のにぎわいある暮らしの中で、子供からお年寄りまで様々な世代が助け合い、心意気と人情で支え合いながら希望と活力にあふれた暮らしを続けています。

今、本区では、こうしたかけがえのない財産を活かし、「教育はひとづくり」の観点から、台東区のまち全体を人が成長するための環境「学びのキャンパス」としてとらえ、学校、家庭、地域の信頼と支え合いの中で、将来の台東区を担うひとづくりを推進しています。

今後も、この施策をさらに充実させ、地域に支えられたひとづくりが、世界に輝く台東区を築く人材を育むとともに、平和で、多様な人々が活躍できる魅力あるまちづくりへと結びつくよう、次の項目に取り組みます。

### ●温故創新とこころざし

台東区の歴史、文化を尊重し、伝統・技能を継承、発展させるとともに、こころざしを立て、新たな地域や社会を創造するひとづくりを進めます。

### ●自己実現と支え合い

区民が生涯を通じて自己実現に努め、自他を尊重し共に支え合い、変化が大きい社会を生き抜く力を培えるよう支援します。

### ●教育に対する信頼と尊敬

教育に携わる教師・保育士の資質向上をたゆまず図り、子供たちや保護者、地域から、より信頼され尊敬される人材を育成します。

### ●心の豊かさと学びの環境づくり

区民一人ひとりが心豊かに生涯を送れるよう、いつでも、どこでも、誰もが、ライフステージに応じて学べる環境を整備します。

### ●絆と地域力

家庭や地域社会の絆を大切にし、活力あるコミュニティの形成に努め、地域力を高めます。

令和元年5月8日

台東区長 服部 征夫

## 《教育目標》

台東区教育委員会は、子供たちが心身ともに健康で、人権尊重の精神を基調として人間性豊かに未来を創造する人材に成長することを願い、

- 互いの人格や多様性を尊重し、思いやりの心と規範意識をもつ人
- 個性や豊かな創造力、健やかな体を持ち、自ら学び、考え、行動する人
- 台東区の歴史・文化に誇りをもち、地域社会を愛し、発展に貢献できる人

の育成に向けた教育を充実する。

また、だれもが生涯にわたり自己実現に生きがいを見出し、学びを継続し、心豊かに人生を送ることのできる生涯学習社会の実現を図る。

そして、あらゆる世代が豊かな人間性を養い、心身ともに健やかに成長することができる多様な機会を創出する。

## 《基本方針》

台東区教育委員会は、「教育目標」達成のため、以下の「基本方針」に基づき、総合的に教育施策を推進する。

### 【基本方針1 人権尊重の精神の育成】

幼児・児童・生徒が人権尊重の精神にもとづき、生命を尊び、自他を尊重する心や社会の基本的ルールを身に付け、社会の形成者としてよりよく成長できるよう、家庭・学校(園)・地域社会・関係機関が、それぞれの役割と責任を果たし、緊密な連携のもとに人権教育を推進する。

### 【基本方針2 学校教育の充実】

未来を創造する幼児・児童・生徒が、たくましく生き抜くことができるよう、健康の増進と体力の向上を図るとともに、基礎・基本を確実に定着させ、自ら学ぶ意欲や態度、思考力、判断力、表現力等の「確かな学力」を育成する。また、集団生活の中で、正義と責任、規律を重んじる態度や社会性を涵養するとともに、個性と創造力を伸ばすことを通じて、「生きる力」の基礎を培う学校教育を充実する。

生涯にわたる人格形成の基礎を培うために重要な幼児教育及び学校教育において公教育とともに重要な役割を果たしている私立学校教育については、その振興に努める。

### 【基本方針3 生涯学習の推進】

区民が生きがいと地域社会に対する愛着をもって生活することのできる生涯学習社会を確立するため、歴史や文化芸術、スポーツ等、多様な学習や活動の機会の提供と質の充実に努める。また、関係団体の自主的な活動の場等の条件整備を一層図り、生涯学習を推進する。

### 【基本方針4 区民の教育参加の推進】

家庭・学校(園)・地域社会のすべてを人が生涯にわたって学ぶための環境とし、すべての区民が連携・協働して、共に育ちあう地域社会を形成できるよう、区民の教育参加を推進する。

令和4年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価

報 告 書

令和4年9月発行

編集・発行 台東区教育委員会

〒110-8615 東京都台東区東上野4-5-6

電話 03-5246-1402 / FAX 03-5246-1409

メールアドレス : ed-shomu.lqt@city.taito.tokyo.jp